

KENWOOD

DDX6170BT DDX6170 DDX3170

MONITOR WITH DVD RECEIVER

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。

下記ウェブサイトでご登録となり、My-Kenwoodをご利用ください。

<https://jp.my-kenwood.com>

目次

安全上のご注意 (必ずお守りください).....	3
ご使用前に	6
本機のリセット方法.....	6
はじめの設定	8
初期設定をする	8
セキュリティ機能を有効にする.....	8
時計の設定	9
基本操作.....	10
各部の名称とはたらき.....	10
共通の操作	11
共通の画面操作	12
再生ソースを選択する.....	14
ショートカットボタンを使用する.....	15
ディスク	16
USB.....	21
Android	23
iPod/iPhone.....	25
APPs	28
ラジオ	29
外部 AV 機器.....	31
リアカメラを使用する.....	31
外部オーディオ / ビデオプレーヤーを 使用する—AV-IN.....	33
BLUETOOTH.....	34
設定	42
iPod touch/iPhone/Android の アプリケーションを使うための 設定をする	42
音の調整	43
映像再生の調整	46
画面のデザインを変更する	47
ホーム画面をカスタマイズする	49
システム設定をカスタマイズする.....	49
メニュー項目を設定する.....	51
接続 / 取り付け	54
資料	59
本機のお手入れについて	59
詳細情報	59
エラーメッセージ一覧.....	63
故障かな? とと思ったら	63
仕様.....	65
保証とアフターサービス (必ずお読みください).....	69
Spotify	70

本書の読みかた：



- 本書では、おもに DDX6170BT のイラストを説明に使用しています。本書の中の画面やパネルは、操作方法を明確に伝えるための例です。そのため、実際の画面やパネルと異なる場合があります。
- <> はタッチパネルに表示されるさまざまな画面 / メニュー / 操作 / 設定を表します。
- [] はタッチパネル上のボタンを表します。
- 最新の情報 (最新の取扱説明書やシステムアップデート情報、新機能など) を当社ホームページで提供しています。下記ウェブサイトでご確認ください。<<http://www.kenwood.com/jp/car/>>

本機は KENWOOD Remote アプリを使ってスマートフォンからも操作することができます。詳しくは <http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/app/> をご覧ください。




安全上のご注意（必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告



本機はDC12V ⊖アース車以外で 사용하지 ない

火災や故障の原因になります。DC24V車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で 사용하지 ないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要で す。誤った取り付けや配線をする と車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

取り付けや配線について

警告



必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（パーキングブレーキ）コードは正しく配線する

正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意



自動車のコンソールに取り付ける

本機の使用時または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。



直射日光やヒータの熱風が直接当たる場所に取り付けない

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのとは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

使用方法について



警告



機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に依頼してください。



注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ



警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

ご使用の前に

本機をご使用になる前に、以下の点に注意してください。

本機の異常にお気づきのときは（本機のリセットのしかた）

本機の異常にお気づきのときは、「故障かな？と思ったら」（63 ページ）を参照して、項目を確認してください。

解決方法が見つからない場合は、本機をリセットしてください。本機をリセットしても異常がある場合は、本機の電源を切り、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

モニター画面について

- 本機のモニターは高い精度で製造されておりますが、不良なドットが存在する場合があります。これは避けられるものではなく、故障ではありません。
- 画面を見る角度によって、表示が見にくくなる場合があります。これは避けられるものではなく、故障ではありません。
- モニターを直射日光に当てないでください。
- タッチパネルをボールペンなどの先のとがったもので操作しないでください。
- タッチパネル上のボタンは、指で直接タッチしてください（手袋ははずしてください）。
- 画面に強い衝撃を与えないでください。
- 画面に保護フィルムを貼らないでください。
- 気温が非常に低い場合、または高い場合 ...
 - 内部で化学変化が起こり、故障の原因になります。
 - 画像がクリアに表示されない、または画像の動きが遅くなる場合があります。そのような環境では、画像と音声はずれる、または画質が低下する場合があります。

オートアンテナ搭載車に本機を取り付けるときは
オートアンテナ搭載車に本機を取り付けているときは、本機の電源を入れるとアンテナが自動で伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源を切るか、ラジオ以外のソースを選択してください。

安全のために

- 音量を上げすぎないでください。車外の音が聞こえなくなることで運転に影響をおよぼしたり、難聴を引き起こす恐れがあります。
- 複雑な操作をする場合は停車してください。

車内の気温について

寒い場所または暑い場所に長時間駐車した場合は、車内が常温に戻ってから本機を操作してください。

本機のお手入れについて

画面や操作ボタンが汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤にひたした布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。スプレー式のクリーナーを直接吹きかけると故障の原因になります。硬い布やシンナー、アルコールなどを使用すると、画面に傷がついたり文字が消えたりする場合があります。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上に賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

□本機のリセット方法

本機が正常に動作しない場合は、リセットボタンを押してください。

DDX6170BT/DDX6170



DDX3170



ご使用前に

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解/改造すること
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波干渉距離は 10m です。

■■■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

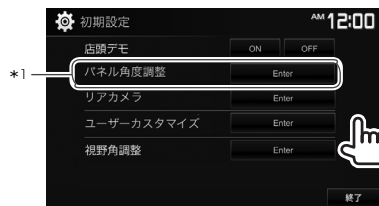
はじめの設定

初期設定をする

初めて電源をオンにしたときや、リセットボタンを押したときは初期設定画面を表示します。

- ・ <設定> 画面でも設定を変更できます。
(51 ページ)

1 初期設定を実行します。



<店頭デモ> 店頭デモの画面を有効または無効にします。
(53 ページ)

<パネル角度調整>*1 パネルの角度を調整します。
(11 ページ)

<iPod 設定>*2 iPod/iPhone の接続方法を選択します。
(25 ページ)

<リアカメラ> 接続しているリアカメラの画像を表示する設定をします。

<ユーザーカスタマイズ> 画面デザインを変更します。
(47 ページ)

<視野角調整> 画面が見やすくなるようにモニターパネルの角度を調整します。
(53 ページ)

2 設定を終了します。



ホーム画面が表示されます。

*1 DDX6170BT/DDX6170 のみ

*2 DDX6170/DDX3170 のみ

セキュリティ機能を有効にする (DDX3170 のみ)

本機が盗難されないように、セキュリティ機能を有効にできます。

1 <システム> 設定画面を表示します。

ホーム画面上で：

- ・ [▲]/[▼] を押して、ページを切り替えると、他の項目を表示できます。



2



セキュリティ機能が有効になります。
エンジンキーがオフのときは、モニターパネルのセキュリティインジケータが点滅します。

セキュリティ機能を無効にするには：<簡易セキュリティ> で [OFF] を選択します。

はじめの設定

時計の設定

1 ホーム画面を表示します。

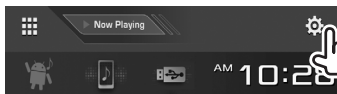
モニターパネルで：

DDX6170BT/
DDX6170

DDX3170

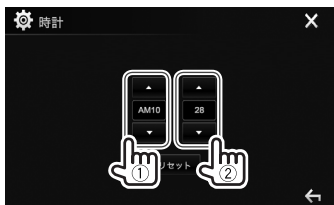


2 <時計> 画面を表示します。



- ホーム画面の時計のエリアをタッチしても <時計> 設定画面を表示することができません。

3 時刻を設定します。



- 時を調整し (①)、続いて分を調整します (②)。
• [リセット] を押すと、分が「00」に設定されます。

4 設定を終了します。



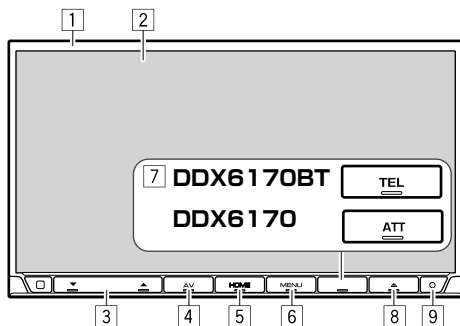
基本操作

各部の名称とはたらき

△ 音量設定に関する警告：

デジタル機器は他のソースと比べて、ノイズが少なくなります。出力レベルが急に上がることでスピーカーが破損しないように、デジタル機器から再生する前には、音量を下げてください。

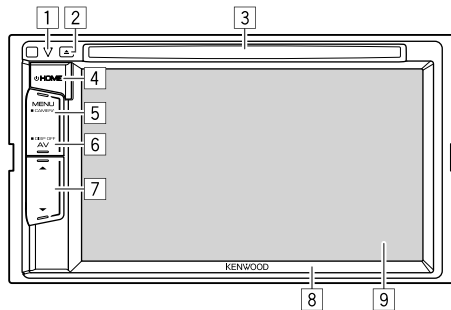
DDX6170BT/DDX6170



- 1 モニターパネル*
- 2 画面 (タッチパネル)
- 3 VOLUME ▼/▲ ボタン
音量を調節します。(11 ページ)
- 4 AV/DISP OFF ボタン
・現在のソース画面を表示します。(押す)
・画面表示をオフにします。(長押し)
(12 ページ)
- 5 HOME ボタン
・ホーム画面を表示します。(押す)
(13 ページ)
・電源をオンにします。(押す) (11 ページ)
・電源をオフにします。(長押し) (11 ページ)

- 6 MENU/CAMERA ボタン
・ショートカットメニューをポップアップ表示します。(押す) (15 ページ)
・接続したカメラの画像を表示します。(長押し) (31 ページ)
 - 7 DDX6170BT : TEL/VOICE ボタン
・電話機コントロール画面を表示します。(押す) (38 ページ)
・音声ダイヤルを有効にします。(長押し) (39 ページ)
DDX6170 : ATT ボタン
音量を一時的に小さくします。(押す) (11 ページ)
 - 8 ▲ (イジェクト) ボタン
・ディスクを取り出します。(モニターパネルが開きます。) (16 ページ)
・モニターパネルを開いたり閉じたりします。
 - 9 リセットボタン
本機をリセットします。(6 ページ)
- * モニターパネルのボタンの色を変更できます。
(47 ページ)

DDX3170



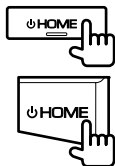
- 1 リセットボタン/パワーインジケータ/セキュリティインジケータ
・本機をリセットします。(6 ページ)
・本機の電源がオンのときに点灯します。
・セキュリティ機能が有効のときに点滅します。(8 ページ)
- 2 ▲ (イジェクト) ボタン
ディスクを取り出します。(16 ページ)
- 3 ディスク挿入口
- 4 HOME ボタン
・ホーム画面を表示します。(押す) (13 ページ)
・電源をオンにします。(押す) (11 ページ)
・電源をオフにします。(長押し) (11 ページ)
- 5 MENU/CAMERA ボタン
・ショートカットメニューをポップアップ表示します。(押す) (15 ページ)
・接続したカメラの画像を表示します。(長押し) (31 ページ)
- 6 AV/DISP OFF ボタン
・現在のソース画面を表示します。(押す)
・画面表示をオフにします。(長押し) (12 ページ)
- 7 音量 ▼/▲ ボタン
音量を調節します。(11 ページ)
- 8 モニターパネル
- 9 画面 (タッチパネル)

基本操作

共通の操作

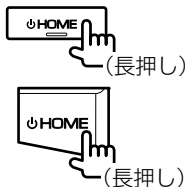
□電源をオンにする

DDX6170BT/
DDX6170
DDX3170



□電源をオフにする

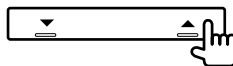
DDX6170BT/
DDX6170
DDX3170



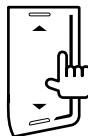
□音量を調節する

音量を調節するには (00 ~ 35)

DDX6170BT/
DDX6170



DDX3170



大きくするには ▲ を押し、小さくするには ▼ を押します。

- ▲ を押し続けると、音量が連続的にレベル 15 まで大きくなります。

音量を一時的に小さくするには (DDX6170 のみ)



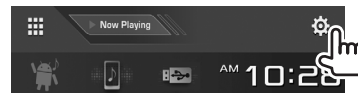
ATT インジケータが点灯します。

音量を元の大きさに戻すには：同じボタンをもう一度押します。

□パネルの角度を調整する

(DDX6170BT/DDX6170 のみ)

- 1 <パネル角度調整> 画面を表示します。
ホーム画面上で：
 - [▲]/[▼] を押して、ページを切り替えると、他の項目を表示できます。



- 2 角度 (0 ~ 6) を選択します。

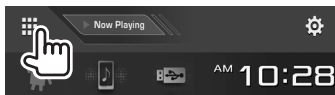


- 電源をオフにしたときのパネル角度を登録するには、パネル角度調整を設定したあとに [保存] を選択します。

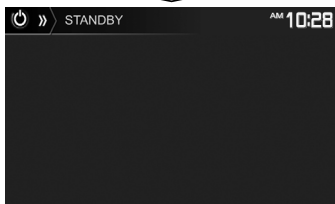
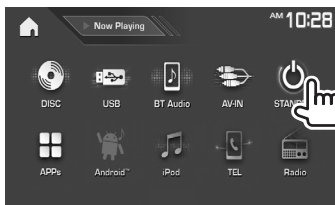
基本操作

□ 本機をスタンバイ状態にする

- 1 すべての再生ソースと項目を表示します。
ホーム画面上で：



2



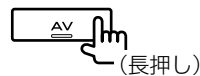
□ 画面をオフにする

ポップアップショートカットメニュー（15ページ）で：
モニターパネルの MENU を押してポップアップショートカットメニューを表示し、**[Display OFF]** を選択します。



モニターパネルで：

**DDX6170BT/
DDX6170**



DDX3170



画面をオンにするには：同じボタンを長押しするか、画面にタッチします。

共通の画面操作

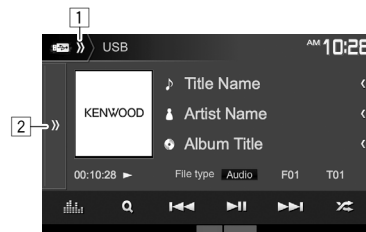
□ 共通の画面説明

ソースの変更、情報の表示、設定の変更などのためにいつでもその他の画面を表示できます。

ソースコントロール画面

ソース再生に関する操作を行います。

- ・表示される操作ボタンと情報画面は選択したソースによって異なります。



共通の操作ボタン：

- 1 ソース選択のショートカットボタンを表示または非表示にします。（15ページ）
- 2 表示されていない操作ボタンを表示します。*

* ソースコントロール画面に現在表示されているもの以外に操作ボタンがない場合は表示されません。

基本操作

ホーム画面

ソースコントロール画面と設定画面を表示します。

- ホーム画面を表示するには、モニターパネルの **HOME** を押します。
- ホーム画面に表示する項目を並べ替えることができます。(49 ページ)

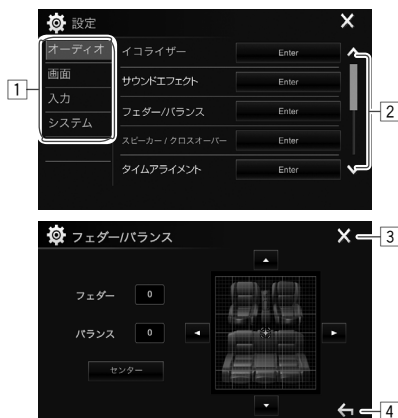


共通の操作ボタン：

- すべての再生ソースと項目を表示します。(14 ページ)
- 現在再生しているソースを表示します。
- <設定>** 画面を表示します。(右段参照)
- 再生ソースを変更します。(14 ページ)
- <時計>** 設定画面を表示します。(9 ページ)

<設定> 画面

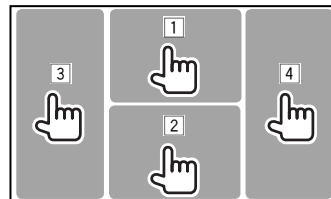
詳細設定を変更します。(51 ページ)



共通の操作ボタン：

- メニューカテゴリーを選択します。
- ページを切り替えます。
- 設定画面を閉じて、現在のソースコントロール画面に戻ります。
- 1 つ前の画面に戻ります。

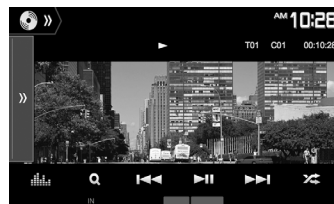
□タッチパネルの操作



- 映像の再生中に、映像コントロールメニューを表示します。



- 映像の再生中に、ソースコントロール画面を表示します。



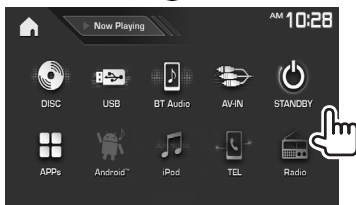
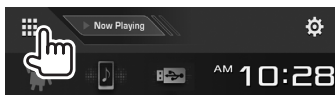
- 画面をタッチすると、または約 5 秒間何も操作を行わないと操作ボタンは消えます。
- 1 つ前のチャプター / トラックを再生します。*
 - 次のチャプター / トラックを再生します。*

* 外部機器からの映像には使用できません。

基本操作

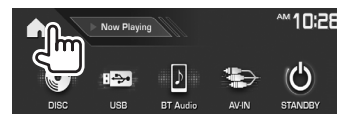
再生ソースを選択する

ホーム画面上で：



- [DISC]** ディスクを再生します。
(16 ページ)
- [USB]** USB 機器上のファイルを再生します。
(21 ページ)
- [BT Audio]^{*1}** Bluetooth オーディオプレーヤーを再生します。
(40 ページ)
- [AV-IN]^{*2}** iPod/AV-IN 入力端子に接続した外部機器に切り替えます。
(33 ページ)
- [STANDBY]** 本機をスタンバイ状態にします。
(12 ページ)
- [APPs]** 接続した iPod touch/iPhone/Android 機器から App 画面に切り替えます。
(28 ページ)
- [Android™]** Android 機器を再生します。
(23 ページ)
- [iPod]** iPod/iPhone を再生します。
(25 ページ)
- [TEL]^{*1}** 電話機コントロール画面を表示します。
(38 ページ)
- [Radio]** ラジオ放送に切り替えます。
(29 ページ)

ホーム画面に戻るには



^{*1} DDX6170BT のみ。

^{*2} <iPod 設定> の接続方法が [USB + AV-IN] 以外に設定されている場合のみ選択できます。(25 ページ)

□ ホーム画面の再生ソースを選択する



- ・ ホーム画面に表示する項目を並べ替えることができます。(49 ページ)

基本操作

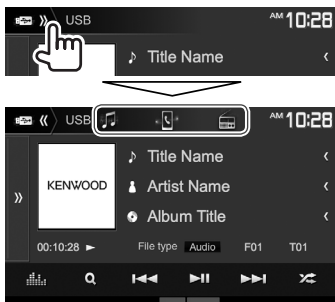
ショートカットボタンを使用する

□ ソース選択のショートカットボタンを使用する

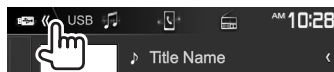
ソースコントロール画面を表示中に、ショートカットボタンを使用して、下のホーム画面に表示されている項目に移動することができます。



ソース選択のショートカットボタンを表示するには
ソースコントロール画面で：



ショートカットボタンを非表示にするには



□ ポップアップショートカットメニューを使用する

ソースコントロール画面を表示中に、ポップアップショートカットメニューから他の画面に移動できます。

1 ポップアップショートカットメニューを表示します。

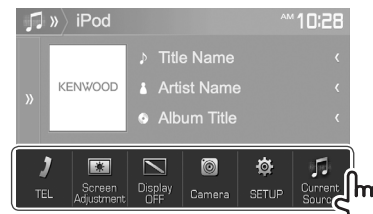
DDX6170BT/
DDX6170



DDX3170



2 移動先の項目を選択します。



[TEL]* 電話機コントロール画面を表示します。(38 ページ)

[Screen Adjustment] 画像調整画面を表示します。(46 ページ)

[Display Off] 画面表示をオフにします。(12 ページ)

[Camera] リアカメラの画像を表示します。(31 ページ)

[SETUP] < 設定 > 画面を表示します。(51 ページ)

[Current Source] 現在のソースコントロール画面を表示します。

ポップアップメニューを閉じるには：画面上のポップアップショートカットメニュー以外の場所をタッチします。

* DDX6170BT のみ

ディスク

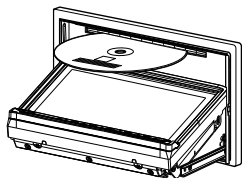
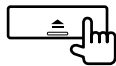
ディスクを再生する

- ディスクにディスクメニューがない場合は、ソースを変更するかディスクを取り出すまでは、すべてのトラックが繰り返し再生されます。
- 再生可能なディスク / ファイル形式は、60ページをご覧ください。

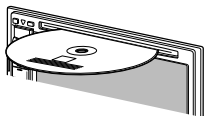
ディスクを挿入する

レーベル面を上にしてディスクを挿入してください。

DDX6170BT/
DDX6170





DDX3170



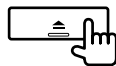
ソースが **「DISC」** に切り替わり、再生が始まります。

- ディスクの挿入中は、IN インジケータが点灯します。

- 「」が表示されたときは、その操作ができません。
 - 「」が表示されなくても、操作ができない場合があります。
- マルチチャンネルでエンコードされたディスクを再生するときは、マルチチャンネル信号はステレオ信号にダウンミックスされます。

ディスクを取り出す

DDX6170BT/
DDX6170




DDX3170



- ディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。
- 他の AV ソースを再生中にディスクを取り出すことができます。
- 出てきたディスクを 15 秒以内に引き出さないと、ほこりから守るために自動的に再びディスクは挿入口に引き込まれます。

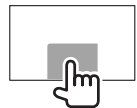
モニターパネルを閉じる (DDX6170BT/ DDX6170 のみ)

ディスクを取り出した後、モニターパネルの  を押します。モニターパネルが閉じます。

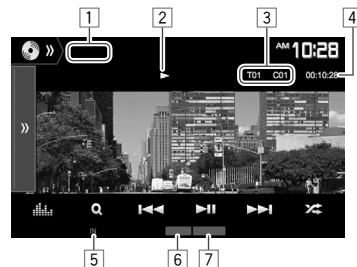
再生の操作

操作ボタンが画面に表示されていない場合は、右の図に示されたエリアをタッチします。

- 映像再生の設定を変更する場合は、46 ページをご覧ください。



ソースコントロール画面上の表示とボタン 映像再生時



再生情報

- 画面に表示される情報は、再生しているディスク / ファイル形式によって異なります。

- 1 メディア形式
- 2 再生状態
- 3 現在の再生項目情報 (タイトル番号 / プログラム番号 (またはプレイリスト番号) / チャプター番号 / フォルダ番号 / ファイル番号 / トラック番号)
- 4 再生時間
- 5 IN インジケータ
- 6 再生モード (19 ページ)
- 7 ファイル形式

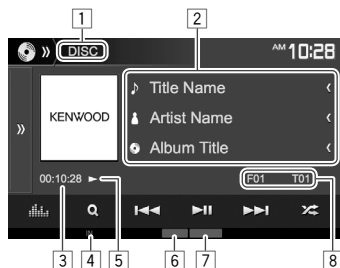
ディスク

操作ボタン

- 使用可能な画面上のボタン、および操作は、再生しているディスク / ファイル形式によって異なります。

- [>>] 非表示になっている操作ボタンを表示します。
• 非表示にするには、[<<<]を押します。
- [||||] <イコライザー> 画面を表示します。(43 ページ)
- [Q] フォルダ / トラックのリストを表示します。(18 ページ)
- [<<<] トラックを選択します。(押し)
[>>>] 後方 / 前方サーチを行います。(長押し)
• 一時停止中にスロー再生をします。(長押し)
- [▶||] 再生を開始 / 一時停止します。
- [<>] ランダム再生モードを選択します。(19 ページ)
- [📁] [+] フォルダを選択します。
- [🔄] リピート再生モードを選択します。(19 ページ)
- [■] 再生を停止します。
- [MODE] <DISC モード> 画面上でディスク再生の設定を変更します。(20 ページ)

オーディオ再生時



再生情報

- 画面に表示される情報は、再生しているディスク / ファイル形式によって異なります。

- 1 メディア形式
- 2 トラック / ファイル情報
 - 表示するテキスト情報が多い場合は [<] を押しとテキストがスクロールします。
- 3 再生時間
- 4 IN インジケータ
- 5 再生状態
- 6 再生モード (19 ページ)
- 7 ファイル形式
- 8 現在の再生項目情報 (フォルダ番号 / ファイル番号 / トラック番号)

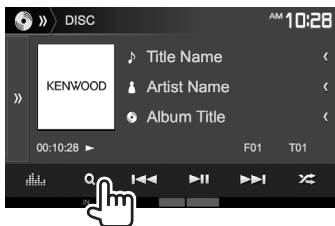
操作ボタン

- 使用可能な画面上のボタン、および操作は、再生しているディスク / ファイル形式によって異なります。
- [>>] 非表示になっている操作ボタンを表示します。
• 非表示にするには、[<<<]を押します。
- [||||] <イコライザー> 画面を表示します。(43 ページ)
- [Q] フォルダ / トラックのリストを表示します。(18 ページ)
- [<<<] トラックを選択します。(押し)
[>>>] 後方 / 前方サーチを行います。(長押し)
- [▶||] 再生を開始 / 一時停止します。
- [■] 再生を停止します。
- [<>] ランダム再生モードを選択します。(19 ページ)
- [📁] [+] フォルダを選択します。
- [🔄] リピート再生モードを選択します。(19 ページ)
- [MODE] <DISC モード> 画面上でディスク再生の設定を変更します。(20 ページ)

ディスク

リストのフォルダ / トラックを選択する

1



2 フォルダを選択して (①)、選択したフォルダ内の項目を選択します (②)。

- 上記の手順を繰り返して、再生したいトラックを選択します。

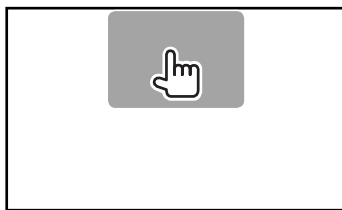


- **[▲]/[▼]** を押して、ページを切り替えると、他の項目を表示できます。
- **[Home]** を押すとルートフォルダに戻ります。
- **[Back]** を押すと 1 つ上の階層に戻ります。

映像メニューの操作

映像を再生中に、映像コントロールメニューを表示できます。

- 画面をタッチすると、または約 5 秒間何も操作を行わないと操作ボタンは消えます。



ビデオ CD 以外の映像を再生する場合



- 使用可能な画面上のボタンおよび操作は、再生しているディスク / ファイル形式によって異なります。

[MENU]

ディスクメニュー (DVD) / プレイリスト (DVD-VR) を表示します。

[T MENU]

ディスクメニュー (DVD) / オリジナルプログラム (DVD-VR) を表示します。

[Highlight]

ダイレクトディスクメニューモードに切り替えます。選択する対象項目をタッチします。
• 画面を元に戻すには **[←]** を押します。

[CUR]

メニュー / シーン選択画面を表示します。

- **[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]**: 項目を選択します。
- **[Enter]**: 選択を確定します。
- **[Return]**: 1 つ前の画面に戻ります。

[ZOOM]

画像サイズを選択画面を表示します。(47 ページ)

[Aspect]

アスペクト比を選択します。(46 ページ)

[Picture Adjust]

画像調整画面を表示します。(46 ページ)

[Audio]

音声形式を選択します。

[Subtitle]

字幕形式を選択します。

- DVD-VR: オーディオチャンネル (ST: ステレオ、L: 左、R: 右) を選択します。

[Angle]

アングルを選択します。

ディスク

ビデオ CD 再生時



- [MENU]** ディスクメニューを表示します。
- [Audio]** オーディオチャンネル (ST : ステレオ, L : 左, R : 右) を選択します。
- [Direct]** ダイレクト選択ボタンを表示 / 非表示にします。(右段参照)
- [Return]** 1つ前の画面またはメニューを表示します。
- [ZOOM]** 画像サイズの選択画面を表示します。(47 ページ)
- [Aspect]** アスペクト比を選択します。(46 ページ)
- [Picture Adjust]** 画像調整画面を表示します。(46 ページ)

ビデオ CD 上でトラックを直接選択するには

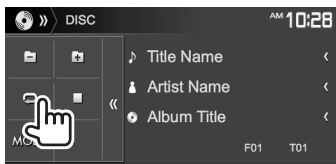
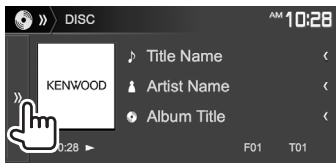
- PBC (プレイバックコントロール) が有効の状態ではビデオ CD を再生しているときは、再生を停止して PBC 機能を無効にし、ダイレクト選択ボタンでトラック番号を選択します。



- 誤った番号を入力した場合は、[DIR/CLR] を押して最後の入力を削除します。

再生モードを選択する

リピート再生モードを選択するには



ランダム再生モードを選択するには



- ボタンの位置は、再生しているディスク / ファイル形式によって異なります。
 - [REP] が表示されていないときは、[>>>] を押して非表示になっている操作ボタンを表示します。
- 使用可能な再生モードは、再生しているディスク / ファイル形式によって異なります。
- リピートモードとランダムモードを同時に有効にすることはできません。
- ボタンを押すたびに再生モードは切り替わります。(対応するインジケータが点灯します。)
 - 使用可能な項目は、再生しているディスク / ファイル形式によって異なります。

C-REP 現在のチャプターを繰り返します。

T-REP 現在のタイトル / プログラムを繰り返します。

REP 現在のトラックを繰り返します。

FO-REP 現在のフォルダのすべてのトラックを繰り返します。

FO-RDM 現在のフォルダのすべてのトラックをランダムに再生して、次のフォルダも同様に再生します。

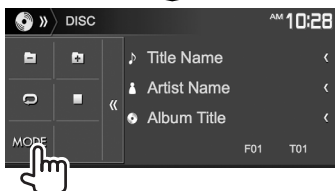
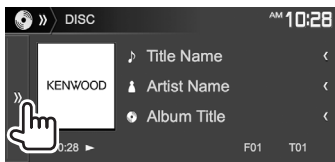
RDM すべてのトラックをランダムに再生します。

リピート / ランダム再生をキャンセルするには :
インジケータが消えるまで、ボタンを繰り返し押しします。

ディスク

ディスク再生の設定—<DISC モード>

1



2



- [▲]/[▼] を押して、ページを切り替えると、他の項目を表示できます。

- <DISC モード> 画面上に表示される使用可能な項目は、再生しているディスク / ファイル形式によって異なります。

□設定項目

<メニュー言語>	ディスクメニュー言語の初期値を選択します。(初期値：日本語) (62 ページ)
<サブタイトル言語>	字幕言語の初期値を選択します。または字幕をオフにします (Off)。(初期値：日本語) (62 ページ)
<音声言語>	音声言語の初期値を選択します。(初期値：日本語) (62 ページ)
<ダイナミックレンジ>	Dolby Digital ソフトウェアを使用して、再生中にダイナミックレンジを変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Wide：低い音量レベルでパワフルなサウンドを、フルダイナミックレンジで楽しみたいときに選択します。 • Normal：ダイナミックレンジを少し下げるときに選択します。 • Dialog (初期値)：映画のセリフなどをよりはっきりと再生したいときに選択します。

<ダウンミックス>

マルチチャンネルディスクを再生するとき、この設定はフロントおよび / またはリアスピーカーを通して再生される信号に影響します。

- **Dolby Surround**：ドルビーサラウンドに対応しているアンプに接続して、マルチチャンネルサラウンド音声を楽しみたいときに選択します。
- **Stereo** (初期値)：通常はこちらを選択します。

<モニタータイプ>

外部モニターでワイド画面の画像を見るときの、モニタータイプを選択します。

16:9 (初期値) 4:3 LB 4:3 PS



<ファイルタイプ>*

ディスクにさまざまな形式のファイルが含まれるときに、再生ファイルの形式を選択します。

- **オーディオ**：オーディオファイルを再生します。
- **静止画像**：画像ファイルを再生します。
- **映像**：映像ファイルを再生します。
- **音楽と映像** (初期値)：オーディオファイルと映像ファイルを再生します。

* 再生可能なファイルタイプは、60 ページをご覧ください。
ディスクに選択したタイプのファイルが含まれない場合、存在するファイルが次の優先順位で再生されます：オーディオ、映像、静止画像。再生が停止しているときにのみ、これらの設定は変更できます。

USB

USB 機器を接続する

USB メモリー、デジタルオーディオプレーヤーなどの USB マスストレージクラスデバイスを本機に接続できます。

- USB 機器の接続に関する詳細は、57 ページをご覧ください。
- コンピュータやポータブル HDD は USB 入力端子に接続できません。
- USB 機器は、USB ハブ経由では接続できません。
- 再生可能なファイル形式や、USB 機器の使用に関する注意は 61 ページをご覧ください。

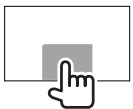
USB 機器を接続しているときは ...

- ソースが「**USB**」に切り替わり、再生が始まります。
- USB 機器の中のすべてのトラックが、ソースを切り替えるまで繰り返し再生されます。

再生の操作

操作ボタンが画面に表示されていない場合は、右の図に示されたエリアをタッチします。

- 映像再生の設定を変更する場合は、46 ページをご覧ください。



□ ソースコントロール画面上の表示とボタン



再生情報

- 画面に表示される情報は、再生しているファイル形式によって異なります。

- 1 ジャケット画像 (ファイルにジャケット画像を含んだタグデータがある場合は、再生中に表示されます)
- 2 トラック / ファイル情報
 - 表示するテキスト情報が多い場合は [< >] を押しとテキストがスクロールします。
- 3 再生時間
- 4 再生状態
- 5 再生モード (右段参照)
- 6 ファイル形式
- 7 現在の再生項目情報 (フォルダ番号 / ファイル番号)

操作ボタン

- 使用可能な画面上のボタン、および操作は、再生しているファイル形式によって異なります。

- [>>>] 非表示になっている操作ボタンを表示します。
- 非表示にするには、[<<<] を押します。

[Audio]/
[Video]/
[Photo]

再生ファイルの形式を選択します。*1

- **Audio** : 音楽ファイルを再生します。
- **Video** : 映像ファイルを再生します。
- **Photo** : 画像ファイルを再生します。

[|||||]

< **イコライザー** > 画面を表示します。
(43 ページ)

[Q]

フォルダ / トラックのリストを表示します。
(22 ページ)

[<<<]

• トラックを選択します。(押す)

[>>>]

• 後方 / 前方サーチを行います。(長押し)

[|||]

再生をスタート / 一時停止します。

[<=>]

ランダム再生モードを選択します。*2 *3

- **FO-RDM** : フォルダ内のすべてのトラック / ファイルをランダムに再生します。
- **RDM** : すべてのトラック / ファイルをランダムに再生します。

[] [+]

フォルダを選択します。

[]

リピート再生モードを選択します。*2 *3

- **REP** : 現在のトラック / ファイルをリピート再生します。
- **FO-REP** : 現在のフォルダのすべてのトラック / ファイルをリピート再生します。

[MODE]

< **USB モード** > 画面上で USB 再生の設定を変更します。
(22 ページ)

*1 再生可能なファイル形式については 61 ページをご覧ください。

ディスクに選択した形式のファイルが含まれない場合、存在するファイルが次の優先順位で再生されます：オーディオ、映像、静止画像。再生が停止しているときにのみ、これらの設定は変更できます。

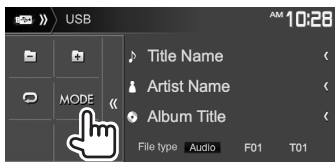
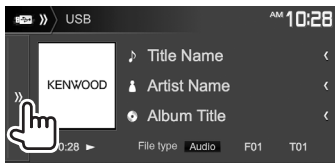
*2 ランダムモードまたはリピートモードをキャンセルするには、インジケータが消えるまでボタンを繰り返し押します。

*3 リピートモードとランダムモードを同時に有効にすることはできません

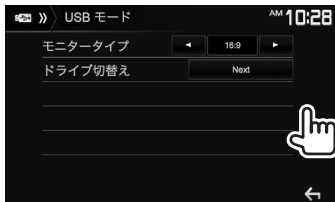
USB

□ USB 再生の設定—<USB モード>

1



2



<モニタータイプ>

外部モニターでワイド画面の画像を見るときは、モニタータイプを選択します。

16:9 (初期値) 4:3 LB 4:3 PS



<ドライブ切替え>

メモリスースを、内部メモリと接続機器（携帯電話など）のどちらかに切り替えます。[Next] を押します。

□ リストのフォルダ / トラックを選択する

1 再生中にフォルダ / トラックリストを表示します。



2 フォルダを選択して (①)、フォルダ内の項目を選択します (②)。

- 上記の手順を繰り返して、再生したいトラックを選択します。



- [▲]/[▼] を押すことで、項目をさらに表示するようにページを変更できます。
- [🏠] を押すとルートフォルダに戻ります。
- [🔼] を押すと 1 つ上の階層に戻ります。

Android

準備

□KENWOOD Music Play をインストールする

Android™用アプリケーションの KENWOOD Music Play を、ご使用の Android 機器に事前にインストールします。

- 対応している Android 機器が接続されると、「Press [VIEW] to install KENWOOD MUSIC PLAY APP」と Android 機器に表示されます。指示に従ってアプリケーションをインストールしてください。接続する前に、ご使用の Android 機器に最新バージョンの KENWOOD Music Play アプリケーションをインストールすることもできます。

KENWOOD Music Play について

- 本機は Android™用アプリケーションの KENWOOD Music Play に対応しています。
- KENWOOD Music Play を使用するときには、ジャンル、アーティスト、アルバム、プレイリスト、曲でオーディオファイルを検索できます。
- KENWOOD Music Play は下記の Web サイトよりダウンロードできます。
<<http://www.kenwood.com/jp/car/>>

□Android 機器を接続する

Android 機器をケーブルで接続します。

- Android 機器の接続に関する詳細は、57 ページをご覧ください。

対応している Android 機器

- 本機は Android OS 4.1 以降に対応しています。
- ただし、Android 機器によっては OS が 4.1 以降であっても、Android Open Accessory (AOA) 2.0 に完全に対応していないことがあります。
- ご使用の Android 機器がマスストレージクラスデバイスと AOA 2.0 の両方に対応しているときは、優先的に AOA 2.0 で再生されます。
- 詳しい情報と最新対応の一覧は下記 URL をご覧ください。<<http://www.kenwood.com/jp/car/>>

□再生を開始する

- 1 ご使用の Android 機器で KENWOOD Music Play を起動します。
- 2 ソースとして「**Android™**」を選択します。(14 ページ)

再生の操作

□ソースコントロール画面上的表示とボタン



再生情報

- 1 アートワーク (曲がアートワークを含むときに表示されます。)
- 2 トラック情報
 - 表示するテキスト情報が多い場合は [<] を押すとテキストがスクロールします。
- 3 再生時間
- 4 再生状態
- 5 再生モード (24 ページ)
- 6 トラック番号 / 総トラック数

Android

操作ボタン

[>>] 非表示になっている操作ボタンを表示します。

・非表示にするには、[<<]を押します。

[≡] <イコライザー> 画面を表示します。(43 ページ)

[Q] オーディオメニューを表示します。(右段参照)

[◀◀] ・トラックを選択します。(押す)

[▶▶] ・後方 / 前方サーチを行います。(長押し)

[▶||] 再生を開始 / 一時停止します。

[↻] ランダム再生モードを選択します。*

・**↻**: すべてのトラックをランダムに再生します。

・**↻ Album**: 現在のアルバムのすべてのトラックをランダムに再生します。

[🔄] リピート再生モードを選択します。

・**🔄 ①**: 現在のトラックをリピート再生します。

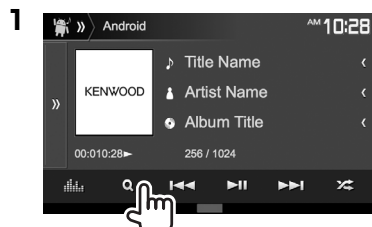
・**🔄 All**: すべてのトラックをリピート再生します。

・**🔄**: リピート再生モードをキャンセルします。

[MODE] <Android モード> 画面上で Android 再生の設定を変更します。(最右段参照)

* ランダムモードをキャンセルするには、インジケータが消えるまでボタンを繰り返し押します。

□メニューからトラックを選択する

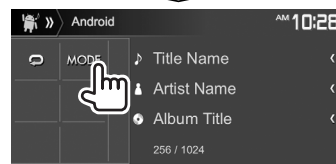
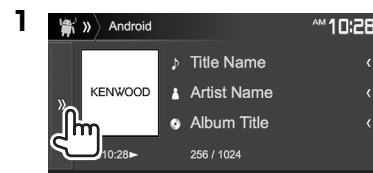


2 カテゴリーを選択して (①)、ご希望の項目を選択します (②)。

- ・項目をアルファベット順に並べるには、**[Q-A-Z]** を押して、キーパッドの最初の文字を選択します。
 - プレイリストが選択されているときにアルファベット検索は使用できません。
- ・各階層で項目を選択して、ご希望のファイルまで移動して選択します。
- ・**[^]** / **[v]** を押して、ページを切り替えると、他の項目を表示できます。
- ・**[Q]** を押すと最上位階層に戻ります。
- ・**[Q]** を押すと 1 つ上の階層に戻ります。



□Android 機器での再生の設定— <Android モード>



<アートワーク> Android 機器のアートワークを表示 / 非表示にします。

<Android 設定>

- ・ **ブラウズモード**: 本機から操作します (KENWOOD Music Play アプリケーションを使用します)。
- ・ **HANDモード**: Android 機器からその他のメディアプレーヤーのアプリケーションを操作します (KENWOOD Music Play アプリケーションを使用しません)。
 - 本機からファイルを再生 / 一時停止またはスキップできます。

iPod/iPhone

準備

□ iPod/iPhone を接続する

- iPod/iPhone の接続に関する詳細は、57 ページをご覧ください。
- 再生可能な iPod/iPhone のタイプは、61 ページをご覧ください。

ご使用の iPod/iPhone を、目的や iPod/iPhone のタイプに応じて接続します。

ケーブルで接続する

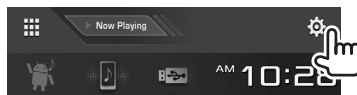
- **音楽を聞くには**：iPod/iPhone 用の USB オーディオケーブルを使用します。
 - Lightning コネクタ搭載モデル：
KCA-iP103 (別売品)
 - 30 ピンコネクタ搭載モデル：KCA-iP102 (別売品)
- **映像を見る、または音楽を聞くには (30 ピンコネクタ搭載モデルのみ)**：iPod/iPhone 用の USB オーディオ・ビデオケーブル KCA-iP202 (別売品) を使用します。
 - Lightning コネクタ搭載モデル：
KCA-iP202 で映像を見ることはできません。

Bluetooth で接続する (DDX6170BT のみ)

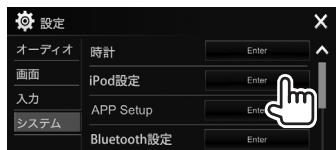
- iPod/iPhone を Bluetooth 経由でペアリングします。(34 ページ)
- Bluetooth 接続で映像を見ることはできません。

□ 再生する iPod/iPhone と接続方法を選択する

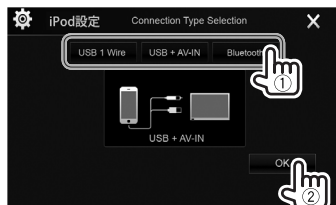
- 1 <システム> 設定画面を表示します。
ホーム画面上で：



2



- 3 接続方法を選択して (①)、その選択を確定します ([OK] または [Next] を選びます) (②)。

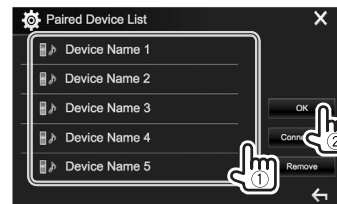


[USB 1 Wire] KCA-iP102 または KCA-iP103 (別売品) を使用して iPod/iPhone を接続しているときに選択します。

[USB + AV-IN] KCA-iP202 (別売品) を使用して iPod/iPhone を接続しているときに選択します。

[Bluetooth]* Bluetooth で iPod/iPhone を接続しているときに選択します。(手順 4 へ)

- 4 [Bluetooth]* を接続方法として選択した場合：機器を選択し (①)、[OK] を押して、接続します (②)。



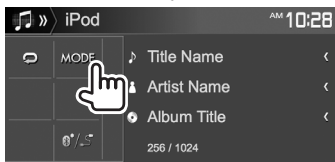
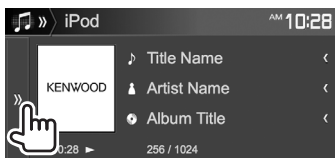
- デバイスがすでに接続されている場合は、手順①は飛ばしてください。

* [Bluetooth] は DDX6170BT のみ表示されます。

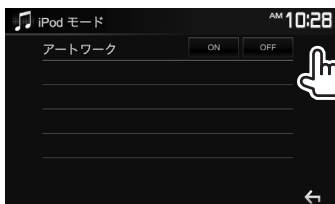
iPod/iPhone

□ iPod/iPhone のアートワークを表示 / 非表示にする

1



2

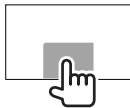


[ON] iPod/iPhone のアートワークを表示します。

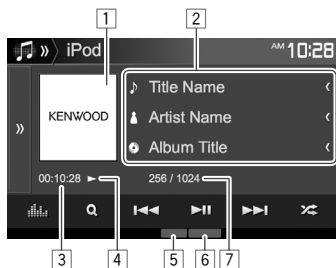
[OFF] iPod/iPhone のアートワークを非表示にします。

再生の操作

操作ボタンが画面に表示されていない場合は、右の図に示されたエリアをタッチします。
• 映像再生の設定を変更するには、46 ページをご覧ください。



□ ソースコントロール画面上的表示とボタン



再生情報

- 1 アートワーク (曲がアートワークを含むときに表示されます)
- 2 曲 / 映像情報
• 表示するテキスト情報が多い場合は [<] を押すとテキストがスクロールします。
- 3 再生時間
- 4 再生状態
- 5 再生モード (右段参照)
- 6 ファイル形式
- 7 トラック番号 / 総トラック数

操作ボタン

- [>>] 非表示になっている操作ボタンを表示します。
• 非表示にするには、[<<<] を押します。
- [EQ] <イコライザー> 画面を表示します。(43 ページ)
- [Q] オーディオ / 映像ファイルメニューを表示します。(27 ページ)
- [<<<] • トラックを選択します。(押し)
[>>>] • 後方 / 前方サーチを行います。(長押し)
- [▶||] 再生を開始 / 一時停止します。
- [X] ランダム再生モードを選択します。*1
• X: 曲のシャッフル再生と同じ機能です。
• X Album: アルバムのシャッフル再生と同じ機能です。
- [O] リピート再生モードを選択します。
• O ①: 1 曲リピート再生と同じ機能です。
• O All: 全曲リピート再生と同じ機能です。
• O: リピート再生モードをキャンセルします。
- [MODE] <iPod モード> 画面上で iPod / iPhone 再生の設定を変更します。(最左段参照)
- [0/S]*2 <iPod 設定> 画面で機器を切り替えます。(25 ページ)

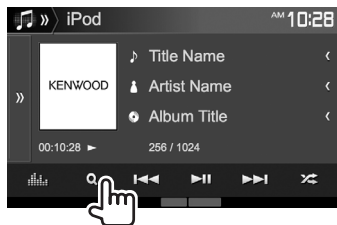
*1 ランダムモードをキャンセルするには、インジケータが消えるまでボタンを繰り返し押します。

*2 DDX61 70BT のみ表示されます。

iPod/iPhone

□ オーディオ / 映像ファイルをメニューから選択する

1



2

メニュー (♪: オーディオ / □: 映像) を選択して (①)、カテゴリーを選択し (②)、ご希望の項目を選択します (③)。

- 項目をアルファベット順に並べるには、**[Q-A-Z]** を押して、キーボードの最初の文字を選択します。
 - プレイリストが選択されているときにアルファベット検索は使用できません。
- 各階層で項目を選択して、ご希望のファイルまで移動して選択します。
- [▲]/[▼]** を押して、ページを切り替えると、他の項目を表示できます。
- [⏪]** を押すと最上位階層に戻ります。
- [⏩]** を押すと 1 つ上の階層に戻ります。

オーディオメニュー：



映像メニュー：



- 表示されるカテゴリーは、ご使用の iPod/iPhone のタイプによって異なります。

APPs

接続した iPod touch/iPhone/Android* の App を本機で使用できます。

- 本機で使用できる Apps に関しては下記 URL をご覧ください。<<http://www.kenwood.com/jp/car/>>。

準備

1 iPod touch/iPhone/Android* を接続します。

- **Android の場合*** : Android 機器を Bluetooth で接続します。(34 ページ)
- **iPod touch/iPhone の場合** : iPod touch/iPhone をケーブルで接続します。(57 ページ)
 - 必ず **<APP Setup>** で、iPod touch/iPhone の適切な接続方法を選択します。(42 ページ)
 - Lightning コネクタ搭載モデルを接続しているときは、映像を見ることができません。

2 **<APP Setup>** 画面で、使用する iPod touch/iPhone/Android 機器を選択します。(42 ページ)

初めて機器を接続するときには、セットアップ画面(接続用など)が表示されます。セットアップ画面の手順に従って設定を行います。

* Android は DDX6170BT のみ使用できます。

App を使用する

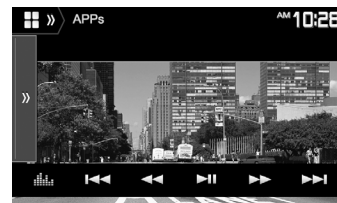
操作ボタンが画面に表示されていない場合は、画面をタッチして表示させます。

- 映像再生の設定を変更するには、46 ページをご覧ください。

再生の操作

- 1 ご使用の iPod touch/iPhone/Android で App を開始します。
- 2 ソースとして「**APPs**」を選択します。(14 ページ)

ソースコントロール画面上の操作ボタン



[>>] 非表示になっている操作ボタンを表示します。

- 非表示にするには、[<<<] を押します。

[📶] **<イコライザー>** 画面を表示します。(43 ページ)

[<<<] [>>>]*1 オーディオ / 映像ファイルを選択します。

[<<<] [>>>]*1 早戻し / 早送りサーチを行います。

[▶||]*1 再生を開始 / 一時停止します。

[▶]*1 再生を開始します。

[||]*1 再生を一時停止します。

[📱/📺]*2 **<APP Setup>** 画面で機器を切り替えます。(42 ページ)

- App の機能の中には、タッチパネルから操作できるものもあります。
- 以下の再生をすることができます。
 - iPod touch/iPhone/Android のオーディオファイル
 - iPod touch/iPhone の映像ファイル

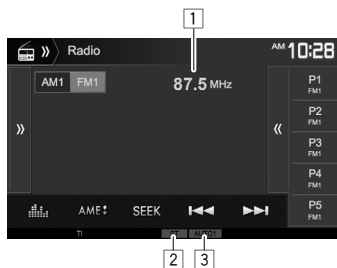
*1 iPod touch/iPhone のみ使用できます。

*2 DDX6170BT のみ表示されます。

ラジオ

ラジオを聞く

□ソースコントロール画面上的表示とボタン



ラジオの受信情報

- 1 受信中の放送局の周波数
- 2 ST/MONO インジケータ
 - FM ステレオ放送を十分な電波強度で受信しているときには、ST インジケータが点灯します。
- 3 選局モードのインジケータ

操作ボタン

- [>>] 非表示になっている操作ボタンを表示します。
・非表示にするには、[<<] を押します。
- [AM] AMバンドを選択します。
→AM1→AM2
- [FM] FMバンドを選択します。
→FM1→FM2
- [<<] 受信中の放送局のウィンドウを表示します。(30ページ)
・ウィンドウを非表示にするには、[>>] を押します。
- [P1] - [P5] 登録した放送局を選択します。(押す)
・現在受信している放送局を登録します。(長押し)
- [] <イコライザ> 画面を表示します。(43ページ)
- [AME ↓]* 放送局を自動でプリセットします。(長押し)(右段参照)
- [SEEK] 選局モードを変更します。
・AUTO1 : 自動で選局します。
・AUTO2 : 放送局をメモリに1つずつ登録します。
・MANU : 手動で選局します。
- [<<] 放送局をサーチします。
[>>] ・サーチ方法は選択した選局モードにより異なります。(上記参照)
- [MONO]* FMの受信状態を良くするためにモノラルモードを有効/無効にします。(ステレオ効果は失われます)
・モノラルモードが有効なときはMONOインジケータが点灯します。

* FMがソースとして選択されているときのみ表示されます。

放送局をプリセットする

□放送局をメモリに登録する

各バンドにつき5局までプリセットできます。

自動プリセット—AME (オートメモリー) (FMのみ)



(長押し)

信号が最も強い、その地域の放送局を自動で検出/登録します。

ラジオ

手動プリセット

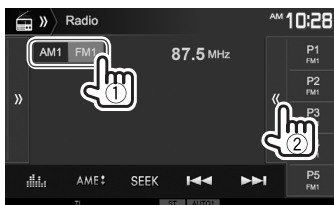
- 1 プリセットしたい放送局を受信します。
(29 ページ)
- 2 プリセット番号を選択します。



手順 1 で選択した放送局が登録されます。

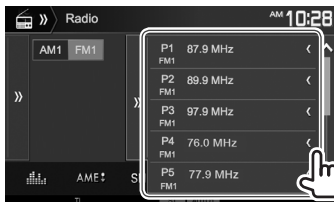
□プリセットした放送局を選択する

- 1 バンドを選択して ①、プリセットした放送局のウィンドウを表示します ②。



・ [P1] - [P5] を押して、プリセットした放送局を選択することもできます。

- 2 プリセットした放送局を選択します。



- ・ 表示するテキスト情報が多い場合は [<] を押すとテキストがスクロールします。
- ・ ウィンドウ一覧を非表示にするには、[>>] を押します。

外部 AV 機器

リアカメラを使用する

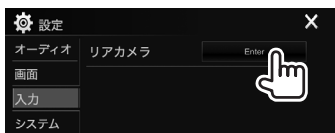
- リアカメラを接続するには、58 ページをご覧ください。
- リアカメラを使用するには、REVERSE リード接続が必要です。(56 ページ)

リアカメラの設定

- 1 <入力> 設定画面を表示します。
ホーム画面上で：



- 2 <リアカメラ> 画面を表示します。



3



- [ON] シフトギアをリバース (R) に入れると、リアカメラからの画像を表示します。
- [OFF] カメラが接続されていない場合に選択します。

- 2 リアカメラの映像を表示する
リアカメラから画像を表示するには、シフトギアをリバース (R) に入れると、リアビュー画面が表示されます。



- 警告メッセージを非表示にするには、画面をタッチします。

リアカメラから画像をマニュアルで表示するには

ポップアップショートカットメニュー (15 ページ) で：
モニターパネルで MENU を押してポップアップショートカットメニューを表示し、[Camera] を選択します。



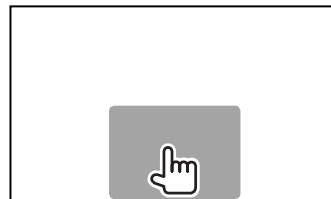
モニターパネルで：

DDX6170BT/
DDX6170

DDX3170



カメラ画面を終了するには
カメラ画面で：
下記に示されたエリアをタッチします。



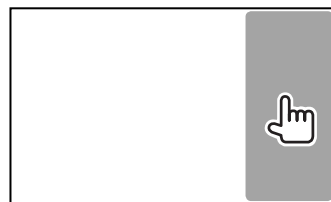
モニターパネルで：

DDX6170BT/
DDX6170

DDX3170



画像を調整するには
カメラ画面の表示中に ...



- 映像コントロールメニューが表示されます。(46 ページ)
画像調整メニューを閉じるには、同じエリアを再度タッチします。

外部 AV 機器

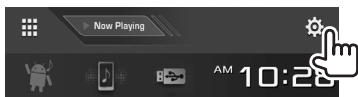
□リアビュー画面のパーキングガイド線を使用する

シフトギアをリバース (R) に入れると、パーキングガイド線が表示され、駐車がしやすくなります。

パーキングガイド線を表示する

1 <入力> 設定画面を表示します。

ホーム画面上で：



2 <リアカメラ> 画面を表示します。



3



無効にするには：<パーキングガイド線表示>で [OFF] を選択します。

- 下記に示されたエリアをタッチしてパーキングガイド線を表示することもできます。パーキングガイド線を非表示にするには、同じエリアを再度タッチします。



パーキングガイド線の表示を調整する

車両の大きさや駐車スペースなどに応じてパーキングガイド線の表示を調整します。

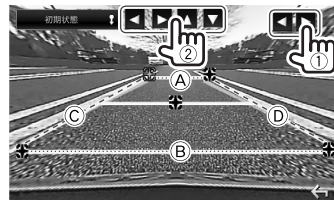
- リアカメラに添付の説明書に従って適切な位置にリアカメラを設置します。
- パーキングガイド線の表示を調整するときは、車両が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

1 <リアカメラ> 画面を表示します。(最左段参照)

2 パーキングガイド線の表示調整画面を表示します。



3 十字マークを選択してパーキングガイド線を調整し (①)、選択した十字マークの位置を調整します (②)。



①と②が水平方向に平行に、③と④が同じ長さになるようにします。

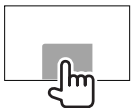
- [初期状態⇅]を2秒以上押しと、すべての十字マークが初期状態に設定されます。

外部 AV 機器

外部オーディオ / ビデオプレーヤー を使用する—AV-IN

操作ボタンが画面に表示されていない場合は、右の図に示されたエリアをタッチします。

- 映像再生の設定を変更するには、46 ページをご覧ください。

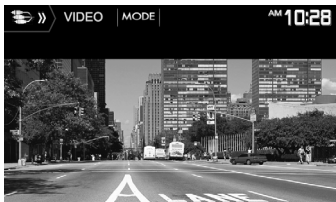


再生を開始する

準備：

「AV-IN」は、<iPod設定> が [USB + AV-IN] に設定されているときには選択できません。事前に必ず、<iPod設定> の他の接続方法を選択してください。(25 ページ)

- 1 外部機器を iPod/AV-IN 入力端子に接続します。(58 ページ)
- 2 ソースとして「AV-IN」を選択します。(14 ページ)
- 3 接続した機器をオンにしてソースの再生を開始します。



AV-IN の名称を変更する

「AV-IN」ソースコントロール画面に表示される AV-IN の名称を変更できます。

- 1 <VIDEO モード> 画面を表示します。



- 2 AV-IN の名称を選択します。



- この設定はホーム画面に表示されるソースの名称には影響しません。

Bluetooth® 機器を使用するための情報



Bluetooth は、携帯電話、ポータブル PC、その他のモバイル機器で使用する、近距離での無線通信技術です。Bluetooth 機器はケーブルを使わずに接続でき、双方向の通信ができます。

注意

- ・ 運転中は、電話をかける、電話帳を使用するなどの複雑な操作を行わないでください。これらの操作を行う際には安全な場所に停車してください。
- ・ 機器の Bluetooth バージョンによっては、本機と接続できない場合があります。
- ・ Bluetooth 機器によっては、本機で使用できない場合があります。
- ・ 接続条件はご使用の環境によって異なります。
- ・ 本機の電源をオフにすると、Bluetooth 機器によっては接続が解除される場合があります。

Phone Book Access Profile (PBAP) に対応している携帯電話について

ご使用の携帯電話が PBAP に対応している場合、携帯電話を接続するとタッチパネル画面に下記の項目が表示できます。

- ・ 電話帳
- ・ 発信履歴、着信履歴、不在着信 (合計 10 件まで)

Bluetooth 機器を接続する

Bluetooth 機器を新規に接続する

初めて Bluetooth 機器を本機に接続するときは、本機と機器をペアリングします。ペアリングによって Bluetooth 機器は双方向の通信ができるようになります。

- ・ ペアリングの方法は、機器の Bluetooth のバージョンによって異なります。
 - Bluetooth 2.1 の機器の場合：機器と本機を、確認のみが必要な SSP (Secure Simple Pairing) を使用してペアリングできます。
 - Bluetooth 2.0 の機器の場合：ペアリングには、機器と本機の両方で PIN コードの入力が必要です。
- ・ 接続が一度確立したら、本機をリセットしても本機に登録されています。合計で 5 台まで登録できます。
- ・ Bluetooth 電話機 2 台と、Bluetooth オーディオ機器 1 台を同時に接続できます。ただしソースが **[BT Audio]** のときは、Bluetooth オーディオ機器を 5 台まで接続し、使用する機器を切り替えることができます。

- ・ Bluetooth 機能を使用するには、機器の Bluetooth 機能をオンにする必要があります。
- ・ 登録した機器を使用するには、機器を本機に接続する必要があります。(36 ページ)

自動でペアリングをする

<Auto Pairing> が **[ON]** に設定されている場合は、iPhone などの iOS 機器は、USB で接続すると自動でペアリングされます。(41 ページ)

SSP を使用して Bluetooth 機器をペアリングする (Bluetooth 2.1)

Bluetooth 機器が Bluetooth 2.1 に対応している場合は、使用できる機器からペアリングリクエストが送信されます。

- 1 ご使用の Bluetooth 機器から本機 **[DDX****]** をサーチします。
- 2 機器と本機の両方でリクエストを確定します。

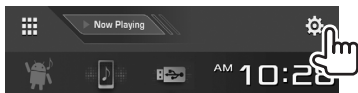



- ・ リクエストを拒否するには、**[キャンセル]** を押します。

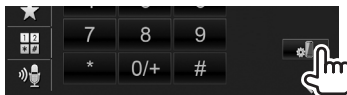
BLUETOOTH

PINコードを使用してBluetooth機器をペアリングする (Bluetooth 2.0の場合)

1 <Bluetooth設定>画面を表示します。
ホーム画面上で：

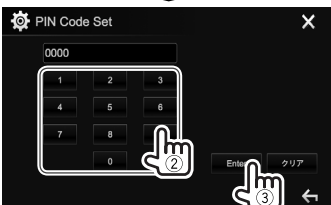


- 電話機コントロール画面で【】を押して、<Bluetooth設定>画面を表示することもできます。(38ページ)



2 PINコードを変更します。

- PINコードの変更の手順を飛ばしたい場合は、手順3に進みます。
- PINコードの初期設定は「0000」です。
- PINコードの最大桁数は15です。



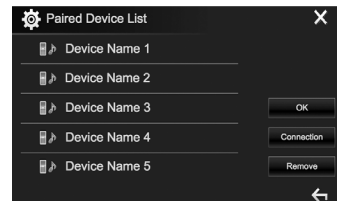
- 最後の入力を削除するには、【クリア】を押します。
- PINコードを削除するには、【クリア】を長押しします。

3 ご使用のBluetooth機器から本機([DDX****])をサーチします。

4 ご使用のBluetooth機器で本機([DDX****])を選択します。

- PINコードを要求された場合は「0000」(初期値)を入力します。

ペアリングが完了すると、<Paired Device List>に機器が一覧表示されます。



- ペアリングされた機器を使用するには、<Paired Device List>画面で機器を接続します。(36ページ)

BLUETOOTH

□登録した Bluetooth 機器を接続 / 接続解除する

2つのデバイスを同時に接続できます。

1 <Bluetooth 設定> 画面を表示します。(35 ページ)

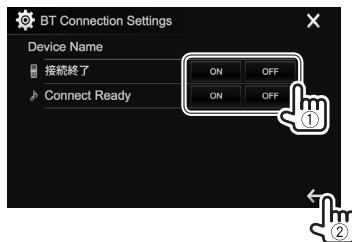
2



3 接続したい機器を選択して (①)、**[Connection]** (②) を押します。



4 ターゲットの **[ON]** (接続) または **[OFF]** (接続解除) を選択して (①)、**<Paired Device List>** 画面を表示します (②)。

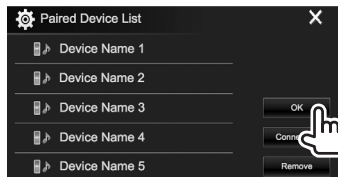


📞： 携帯電話

🎵： オーディオ機器

- ・ 状態は下記のように示されます：
 - 「接続中」：接続中。
 - 「接続終了」：接続されました。
 - 「Connect Ready」：接続できます。
 - 「接続解除中」：接続解除中。
 - 「接続が解除されました」：接続されていません。

5 選択した機器を接続します。



- ・ Bluetooth 対応の携帯電話を接続している場合、機器から情報を取得すると、信号の強度とバッテリーの残量が表示されます。

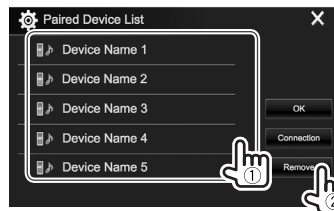
□登録した Bluetooth 機器を削除する

1 <Bluetooth 設定> 画面を表示します。(35 ページ)

2



3 削除する機器を選択して (①)、**[Remove]** を押します (②)。



確認メッセージが表示されたら、**[Yes]** を押します。

BLUETOOTH

Bluetooth 対応の携帯電話を使用する

電話を受ける

着信時 ...



- ・着信情報を取得した場合には表示されます。
- ・リアカメラの映像が表示されているときは電話機の操作はできません。(31 ページ)

電話を切るには



<自動通話> が [ON] に設定されている場合
(41 ページ)

本機が自動で応答します。

通話を終了する

通話中に ...



通話 / イヤホン / マイクの音量を調節する

通話中に ...



- ・音量 (-10 ~ 10、初期値:0) を調節できます。
- ・モニターパネルを使用して、通話 / イヤホン / マイクの音量を調節します。(11 ページ)

ハンズフリーモードと電話機モードを切り替える

通話中に ...



ボタンを押すたびに通話方法が切り替わります
(← : ハンズフリーモード / → : 電話機モード)。

ノイズリダクション / エコーキャンセルのレベルを調節する

通話中に ...



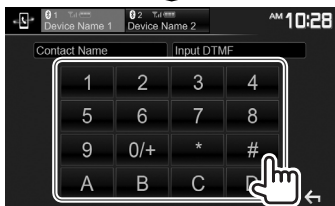
- ・ノイズリダクションレベル(-5 ~ 5、初期値:0) を調節するには: <ノイズレベル> を調節します。
- ・エコーレベル (-5 ~ 5、初期値:0) を調節するには: <エコーレベル> を調節します。

BLUETOOTH

□ 通話中に文字を送信する

DTMF (Dual Tone Multi Frequency) 機能を使用して通話中に文字を送信できます。

通話中に ...



□ 接続している 2 つの機器を切り替える

以下の場合、使用する機器を変更することができます。

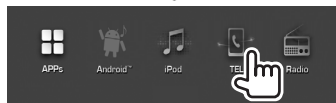
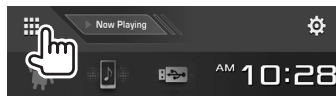
- 2 つの機器を接続している場合
- 電話機コントロール画面が表示されている場合



- 使用できる機器が強調表示されます。

□ 電話をかける

- 1 電話機コントロール画面を表示します。
ホーム画面上で：



- 下記の方法で電話機コントロール画面を表示することもできます：
 - モニターパネルで TEL/VOICE を押す
 - ポップアップショートカットメニューで [TEL] を押す (15 ページ)

- 2 電話をかける方法を選択します。



- 1 通話履歴から *
- 2 電話帳から *
- 3 プリセットリストから
 - プリセット方法は 40 ページをご覧ください。
- 4 番号を直接入力
- 5 音声ダイヤル

- [📞] を押して <Bluetooth 設定> 画面を表示できます。

* 携帯電話が Phone Book Access Profile (PBAP) に対応していない場合は、通話履歴と電話帳は表示されません。

通話履歴 / 電話帳 / プリセットリストから電話をかける

1



- [📞] 通話履歴から (不在着信 / 着信 / 発信)
- [📞] 電話帳から
- [★] プリセットリストから

- 2 相手を選択して (①)、電話をかけます (②)。



- [▲]/[▼] を押してページを切り替えると、他の項目を表示できます。

BLUETOOTH

- 電話帳でアルファベット順にサーチするには：

1



2 頭文字を選択します。

- 頭文字が数字の場合、[1,2,3...] を押して、数字を選択します。

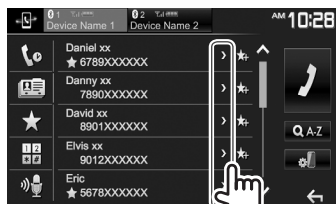


3 リストから電話番号を選択します。



- 他の電話番号を表示するには：
同じ連絡先に複数の電話番号が登録されている場合、電話帳のリストが表示されたときに番号を切り替えることができます（1つの連絡先につき10件の電話番号まで）。

1 番号を切り替えます。



- [>] を押すたびに電話番号が切り替わります。

2 かける電話番号を選択します。



番号を直接入力

数字を3桁まで入力できます。



- 最後に入力した数字を削除するには、[X] を押します。
- [0/+] を長押しして、電話番号に「+」を追加します。

音声ダイヤル

- 接続した携帯電話に音声認識システムがある場合にのみ使用できます。

1 音声ダイヤルを有効にします。
電話機コントロール画面で：



- モニターパネルで TEL/VOICE を長押しして、音声ダイヤルを有効にすることもできます。

2 電話をかけたい相手の名前を発声します。

- 本機が相手を見つかることができない場合は下記の画面が表示されます。[スタート] を押して、名前を再度発声します。



音声ダイヤルを無効にするには：[キャンセル] を押します。

BLUETOOTH

☐電話番号をプリセットする

電話番号を5つまでプリセットできます。

- 1 電話機コントロール画面を表示します。(38 ページ)
- 2 電話帳または通話履歴を選択します。

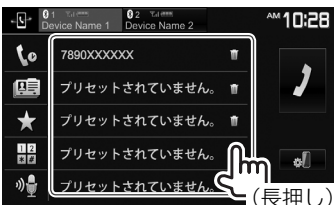


- 3 プリセットする電話番号を選択します。



プリセットリストが表示されます。

- 4 登録するプリセット番号を選択します。



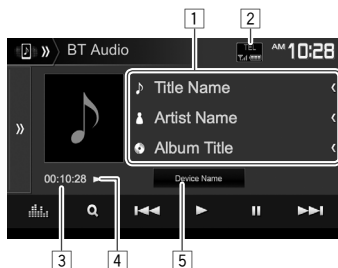
(長押し)

- プリセットリストを表示するには、電話機コントロール画面で【★】を押します。(38 ページ)
- プリセット番号を削除する場合は、プリセットリストの横の、【🗑️】を押します。

Bluetooth オーディオプレーヤーを使用する

- 新しい機器を登録するには、34 ページをご覧ください。
- 機器を接続 / 接続解除するには、36 ページをご覧ください。
- ソースとして【BT Audio】が選択されているときは、Bluetooth オーディオ機器を5台まで接続し、使用する機器を切り替えることができます。

☐ソースコントロール画面上の表示とボタン



- 画面上に表示される操作ボタン、表示、情報は接続した機器によって異なります。

再生情報

- 1 タグデータ (現在のトラックタイトル / アーティスト名 / アルバムタイトル) *1
 - 表示するテキスト情報が多い場合は【<】を押すとテキストがスクロールします。
- 2 信号の強度とバッテリーの残量 (機器から情報を取得したときのみ表示されます)
- 3 再生時間 *1

- 4 再生状態 *1
- 5 接続している機器名
 - ボタンを押すと別の本機に接続されている Bluetooth オーディオ機器に切り替わります。

操作ボタン

- 【>>】 非表示になっている操作ボタンを表示します。
 - 非表示にするには、【<<<】を押します。
- 【📶】 <イコライザー> 画面を表示します。(43 ページ)
- 【Q】 オーディオメニューを表示します。(41 ページ)
- 【<<<】
 - トラックを選択します。(押し)
- 【>>>】
 - 早戻し / 早送りサーチを行います。*1 (長押し)
- ▶ 再生を開始します。
- ⏸ 再生を一時停止します。
- 【🔀】 ランダム再生モードを選択します。*2
- 【🔄】 リピート再生モードを選択します。*2
- 【⚙️】 <Bluetooth 設定> 画面を表示します。(41 ページ)

*1 AVRCP 1.3 に対応している機器にのみ使用できます。

*2 ランダムおよびリピート機能は Bluetooth オーディオ機器によって異なります。

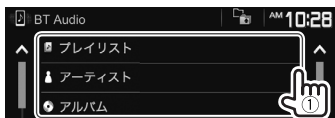
BLUETOOTH

オーディオファイルをメニューから 選択する

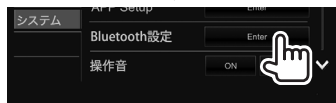
1



2 カテゴリーを選択して (①)、ご希望の項目を選択します (②)。



- 各階層で項目を選択して、再生したいファイルまで移動して選択します。
- **[▲]/[▼]** を押してページを切り替える、他の項目を表示できます。
- **[⏪]** を押すと 1 つ上の階層に戻ります。



- 電話機コントロール画面 (38 ページ) で **[🔊]** を、または「**BT Audio**」ソースコントロール画面 (40 ページ) で **[🔊]** を押すことで **<Bluetooth 設定>** 画面を表示することもできます。

2 Bluetooth の設定を行います。



- **[▲]/[▼]** を押してページを切り替えると、他の項目を表示できます。

設定項目

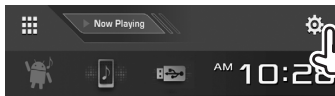
<Paired Device List>	[Enter] を押して、登録した機器のリストを表示します。機器を接続、または登録した機器を削除できます。(36 ページ)
<PIN コード>	本機の PIN コードを変更します。(35 ページ)
<Device Name>	Bluetooth 機器に表示される機器の名前— DDX**** を表示します。

<Device Address>	本機のデバイスアドレスを表示します。
<Auto Connect>	<ul style="list-style-type: none"> • ON (初期値)：本機の電源がオンになったときに、最後に接続されていた機器と自動で接続されます。 • OFF：キャンセルします。
<Bluetooth ハンズフリー/音楽>	<p>Bluetooth で使用するスピーカーを選択します (電話機とオーディオプレーヤー)。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フロントのみ：フロントスピーカーのみ。 • オール (初期値)：すべてのスピーカー。
<自動通話>	<ul style="list-style-type: none"> • ON：着信してから 5 秒後に、本機が自動で応答します。 • OFF (初期値)：自動で応答せずに、手動で応答します。
<Auto Pairing>	<ul style="list-style-type: none"> • ON (初期値)：機器側で Bluetooth 機能が無効になっていても、接続した iOS 機器 (iPhone など) と自動的にペアリングを確立します。(iOS のバージョンによっては、自動ペアリングが動作しない機器があります。) • OFF：キャンセルします。
<初期状態>	[Enter] を長押しすると、Bluetooth 対応の携帯電話および Bluetooth オーディオプレーヤーのすべての設定をリセットします。

Bluetooth 機器を設定する

<Bluetooth 設定> 画面の Bluetooth 機器を使用して各種設定を変更できます。

1 **<Bluetooth 設定>** 画面を表示します。ホーム画面上で：



設定

iPod touch/iPhone/Androidのアプリケーションを使うための設定をする (DDX6170BT のみ)

iPod touch/iPhone/Androidのアプリケーションを使用する前に、使用する機器を選択します。

初めて機器を接続するときには、セットアップ画面(接続用など)が表示されます。セットアップ画面の手順に従って設定を行います。

準備:

- **Android:** Android 機器を Bluetooth で接続します。(34 ページ)
- **iPod touch/iPhone :**
 - iPod touch/iPhone をケーブル (57 ページ) や Bluetooth で接続します。(34 ページ)
 - **<iPod 設定>** で、iPod touch/iPhone の接続方法を選択します。(25 ページ)

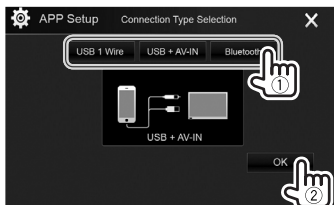
- 1 **<APP Setup>** 画面を表示します。
ホーム画面上で:



- **<APP Setup>** の **[Enter]** が選択できない場合、本機をスタンバイの状態にします。(12 ページ)
- 2 デバイスのタイプを選択し (①)、**[Change]** を押します (②)。



- 3 接続方法を選択して (①)、その選択を確定します (**[OK]** または **[Next]** を選びます) (②)。



Android :

[Bluetooth] 機器を Bluetooth で接続しているときに選びます。(手順 4 へ)

iPod touch/iPhone :

[USB 1 Wire] iPod/iPhone を KCA-iP102 (別売品) または KCA-iP103 (別売品) で接続しているときに選びます。

[USB+AV-IN] iPod/iPhone を KCA-iP202 (別売品) で接続しているときに選びます。

[Bluetooth] iPod/iPhone を Bluetooth で接続しているときに選びます。(手順 4 へ)

- 4 **[Bluetooth]** を接続方法として選択した場合は、ペアリングした機器のリストが表示されます。機器を選択し (①)、**[OK]** を押して、接続します (②)。



- デバイスがすでに接続されている場合は、手順①は飛ばしてください。

設定

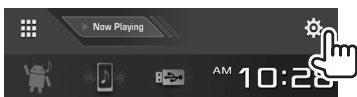
音の調整

□ サウンドイコライザーを使用する

- 音を再調整するまでは、調整値はソースごとに保存されます。ソースがディスクの場合、調整値は下記のカテゴリーごとに保存されます。
 - DVD/DVD-VR/VCD
 - CD
 - MPEG1/MPEG2/MP3/WMA/WAV/AAC/FLAC
- 本機がスタンバイ状態のときにサウンドの調節はできません。


プリセットサウンドモードを選択する

- 1 <イコライザー> 画面を表示します。
ホーム画面上で：



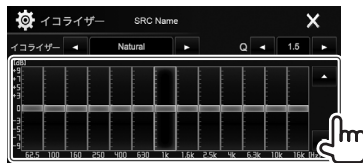
- 2 サウンドモードを選択します。



- ソースコントロール画面で  を押して、<イコライザー> 画面を表示することもできます。

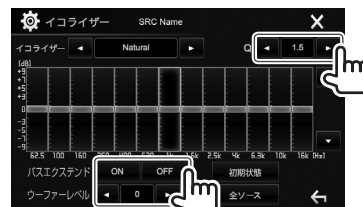
お好みの調整値を保存する—音を細かく調整する

- 1 サウンドモードを選択します。(左段参照)
- 2 バンドを選択して、選択したバンドのレベルを調整します。
 - ・スライダーをドラッグ、または **[▲]/[▼]** でレベルを調整できます。
 - ・この手順を繰り返してその他のバンドのレベルを調整します。



調整値が保存され、<User> が有効になります。

- 3 サウンドを調整します。



<Q> 周波数幅を調整します。

<バスエクス テンド> バスを有効 ([ON]) / 無効 ([OFF]) にします。

<ウーファー レベル> サブウーファーレベルの調整をします。*

- 調整したイコライザーをすべての再生ソースに適用するには、**[全ソース]** を押して、**[OK]** を押して確定します。
- 調整値をクリアするには、**[初期状態]** を押します。

* <スピーカー選択> 画面でサブウーファーが <なし> と選択されている場合は調整できません。(44 ページ)

設定

□スピーカーを設定する—車両タイプ、スピーカーサイズ、クロスオーバー周波数

- 1 <車両タイプ> 画面を表示します。
ホーム画面上で：



- 2 車のタイプを選択して (①)、スピーカーの位置を選択し (②)、<スピーカー選択> 画面を表示します (③)。



- 3 スピーカーのタイプを選択して (①)、選択したスピーカーのサイズを選択し (②)、<クロスオーバー> 画面を表示します (③)。



- スピーカーが接続されていない場合は <なし> を選択します。
- フロントスピーカーを設定しているときに、<ツイター> のスピーカーサイズも選択します。

- 4 選択したスピーカーのクロスオーバー周波数を調整します。



<TWレベル左>/ ツイター (左/右) の出力音量を調整します。*1*2

<TW周波数> ツイターのクロスオーバー周波数を調整します。*1*2

<レベル> 選択したスピーカーの出力音量を調整します。

<HPF周波数> フロントまたはリアスピーカーのクロスオーバー周波数を調整します (ハイパスフィルター)。*3

<LPF周波数> サブウファーのクロスオーバー周波数を調整します (ローパスフィルター)。*4

<スロープ> クロスオーバー周波数のスロープを調整します。*5

<位相> サブウファーの位相を調整します。*4

*1 フロントスピーカーが選択されているときにのみ表示されます。

*2 <スピーカー選択> 画面で <ツイター> が <Small>、<Middle>、<Large> に設定されているときにのみ調整できます。

*3 フロントスピーカーまたはリアスピーカーが選択されているときにのみ表示されます。

*4 サブウファーが選択されているときにのみ表示されます。

*5 <HPF周波数> または <LPF周波数> が <Through> に設定されていると調整できません。

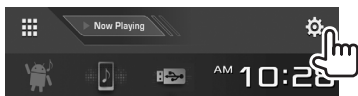
設定

□ デジタルタイムアライメント (DTA) を調整する

スピーカー出力のディレイ時間を調整してご使用の車により適した環境を作成します。

1 <タイムアライメント> 画面を表示します。

ホーム画面上で：



2 リスニングポジション (<オール>、<フロント左>、<フロント右>、<フロント>) を選択します。



3 調整する項目を選択します。



【距離】 デジタルタイムアライメント (DTA) の値を調整します。

【レベル】 選択したスピーカーの出力音量を調節します。

4 各スピーカーの設定を調整します。



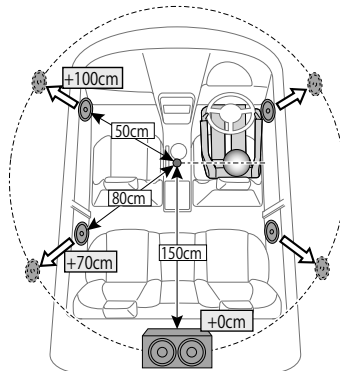
- 調整値を決定するには、右段をご覧ください。
- 設定値を初期化するには【初期状態】を押します。

<タイムアライメント> の調整値を決定する

現在設定されたリスニングポジションの中心から各スピーカーの距離を指定すると、ディレイ時間が自動で算出されます。

- 基準点として、現在設定されたリスニングポジションの中心を決定します。
- 基準点とスピーカーの距離を計測します。
- 最も遠いスピーカーとその他のスピーカーとの距離の差を計算します。
- 各スピーカー用に手順③で計算したDTA値を設定します。
- スピーカーごとにレベルを調整します。

例：<フロント> がリスニングポジションとして選択された場合



設定

映像再生の調整

□ 画像を調整する

画質を調整できます。

- 1 画像調整画面を表示します。
ソースコントロール画面で：



- 2 [DIM ON] (ディマーオン) または [DIM OFF] (ディマーオフ) を選択して (①)、
画像を調整します (②)。



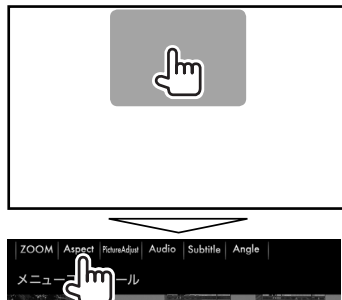
- <明るさ> 明るさを調整します。
(-15 ~ +15)
- <コントラスト> コントラストを調整します。
(-10 ~ +10)
- <色の濃さ> 色の濃さを調整します。
(-10 ~ +10)
- <色> 色を調整します。
(-10 ~ +10)
- <色合い> 色合いを調整します。
(-10 ~ +10)
- <鋭さ> 鮮明度を調整します。
(-2 ~ +2)

・ポップアップショートカットメニューで [Screen Adjustment] を選択して画像調整画面を表示することもできます (15 ページ)。

□ アスペクト比を変更する







映像再生のアスペクト比を変更できます。

- 1 アスペクト比選択画面を表示します。
ソースコントロール画面で：



- 2 アスペクト比を選択します。



- <フル> 16:9 オリジナル画像用
4:3 信号 16:9 信号
 
- <ジャスト> 4:3 画像をワイド画面で違和感なく楽しめます。
4:3 信号 16:9 信号
 
- <ノーマル> 4:3 オリジナル画像用
4:3 信号 16:9 信号
 
- <オート> [DISC] / [USB] のみ：アスペクト比は入力信号と合致するように自動で選択されます。

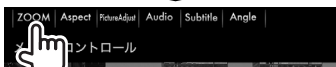
設定

□ 画像を拡大する

画像を拡大できます（<フル>、<ズーム1>から<ズーム3>）。

・<アスペクト>が<ジャスト>または<オート>（46ページ）に設定されている場合、画像は<フル>で設定したアスペクト比に拡大されます。

- 1 拡大レベル選択画面を表示します。
ソースコントロール画面で：



- 2 倍率を変更して（①）、拡大枠を移動します（②）。



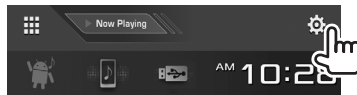
・映像ソースによっては拡大機能が使用できない場合があります。

画面のデザインを変更する

背景とパネルの色（キーカラー）を変更できます。

- 1 <ユーザーカスタマイズ>画面を表示します。

ホーム画面上で：



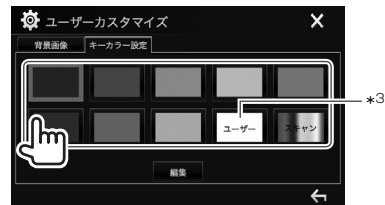
- 2 変更する項目（背景：[背景画像]/パネルの色：[キーカラー設定]*1）を選択します。



- 3 背景/パネルの色を選択します。
背景を選択するには



パネルの色を選択するには*1



・[スキャン]を選択するとイルミネーション色が時間とともに変化します。

*1 DDX6170BT/DDX6170のみパネルの色を選択できます。

*2 お好みの画像を前もって登録します。（48ページ）

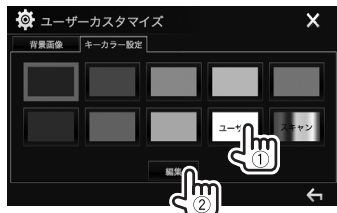
*3 お好みの色を前もって登録します。（48ページ）

設定

□ お好みの色に調整する (DDX6170BT/DDX6170のみ)

1 <ユーザーカスタマイズ> 画面で [**キーカラー設定**] を選択します。(47 ページ)

2



3 色のディマー設定を選択して (①)、色を調節します (②)。



□ 背景用のお好みの画像を登録する

映像や画像を再生中にイメージをキャプチャーして背景に使用できます。

- 著作権保護コンテンツや iPod/iPhone からイメージをキャプチャーすることはできません。
- JPEG ファイルを背景に使用する場合は、解像度が 800 × 480 ピクセルであることを確認してください。
- キャプチャーした画像の色は実際の色と違って見える場合があります。

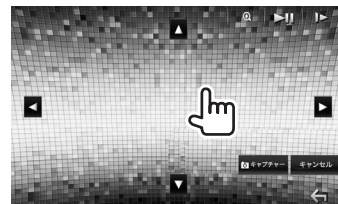
1 映像または画像を再生します。

2 <ユーザーカスタマイズ> 画面を表示します。(47 ページ)

3 画像調整画面を表示します。



4 画像を調整します。



[▲] [▼]

拡大枠を移動します。

[◀] [▶]

[🔍]

画像を拡大します。(＜OFF＞、＜ズーム 1＞ - ＜ズーム 3＞)

[▶||]*

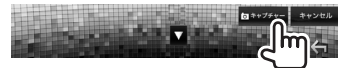
再生を開始 / 一時停止します。

[|▶]*

画像を 1 フレームずつ進めます。

- キャプチャーをキャンセルするには、**[キャンセル]** を押します。

5 画面に表示された画像をキャプチャーします。



確認メッセージが表示されます。新しくキャプチャーした画像を保存するには、**[Yes]** を押します。(既存の画像は新しい画像に置き換わります。)

- **[No]** を押すと 1 つ前の画面に戻ります。

* iPod/AV-IN 入力端子に接続した外部機器を再生中は表示されません。

設定

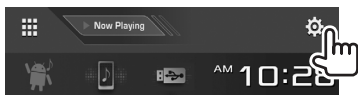
ホーム画面をカスタマイズする

ホーム画面に表示する項目を並べ替えることができます。

1 <HOME カスタマイズ> 画面を表示します。

ホーム画面上で：

- ・[**▲**]/[**▼**]を押して、ページを切り替えると、他の項目を表示できます。



2 アイコンを配置する位置を選択して (①)、選択した位置に表示したい項目を選択します (②)。



上記の手順を繰り返してその他のアイコンを配置します。

システム設定をカスタマイズする

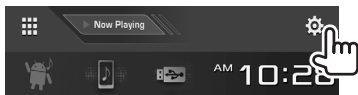
□ 設定を保存する / 呼び出す

- ・<Setup> メニューで変更した設定を保存して、いつでも呼び出すことができます。
- ・保存した設定は本機をリセットしても保持されます。

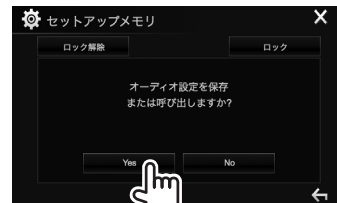
1 <セットアップメモリ> 画面を表示します。

ホーム画面上で：

- ・[**▲**]/[**▼**]を押して、ページを切り替えると、他の項目を表示できます。

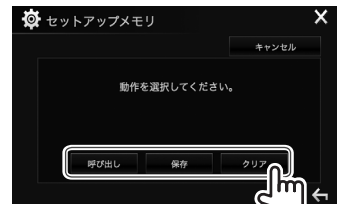


2



- ・キャンセルするには [**No**] を押します。

3 操作を選択します。



[**呼び出し**] 保存した設定を呼び出します。

[**保存**] 現在の設定を保存します。

[**クリア**] 現在保存している設定をクリアします。

- ・キャンセルするには [**キャンセル**] を押します。

確認メッセージが表示されます。[**Yes**] を押します。

設定

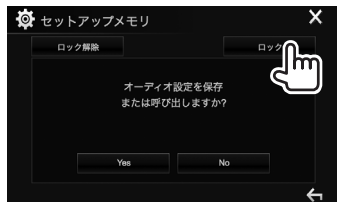
□設定をロックする

設定が変更されることを防ぐために設定をロックできます。

- ロックできる設定の隣に  が表示されます。

1 <セットアップメモリ> 画面を表示します。(49 ページ)

2



ロックを解除するには：[ロック解除] を押しします。

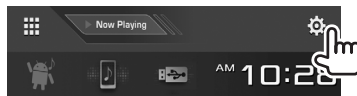
□システムをアップデートする

アップデートファイルが入っている USB 機器を接続してシステムをアップデートできます。

- システムをアップデートするには、次の URL にアクセスしてください。<<http://www.kenwood.com/jp/car/>>

1 アップデートファイルを作成して USB 機器に保存します。

2 <システム情報> 画面を表示します。ホーム画面上で：
• [▲]/[▼] を押して、ページを切り替えると、他の項目を表示できます。



3



<アプリケーション Ver.> システムのアプリケーションをアップデートします。

<システム Ver.> システムをアップデートします。

<DVD Ver.> DVD システムのアプリケーションをアップデートします。

4 アップデートファイルが入った USB 機器を接続します。

- USB 機器の接続方法は 57 ページをご覧ください。
- アップデートが始まりますが、しばらく時間がかかります。
- アップデートが問題なく完了すると、「アップデートに成功しました。」と表示されます。本機をリセットします。
- アップデート中に USB 機器を抜かないでください。
 - アップデートが失敗した場合は、電源を入れ直して再度アップデートをしてください。
 - アップデート中に電源をオフにしても、電源をオンにした後にアップデートを再開できます。アップデートは、はじめから行われます。

設定

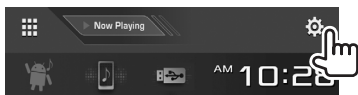
□ タッチ位置を調整する

タッチした位置と行われる操作が合わない場合、タッチ位置を調整できます。

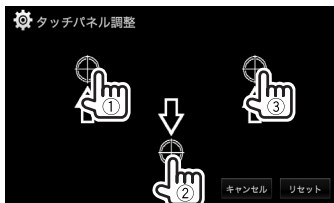
1 <タッチパネル調整> 画面を表示します。

ホーム画面上で：

- ・ **[^]**/**[v]** を押して、ページを切り替えると、他の項目を表示できます。



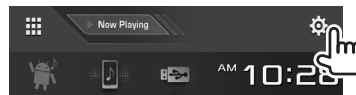
2 指示に従い左上 (①)、中央下、(②)、右上 (③) の順にマークの中央にタッチします。



- ・ タッチ位置をリセットするには **[リセット]** を押します。
- ・ 現在の操作をキャンセルするには、**[キャンセル]** を押します。

メニュー項目を設定する

□ <Setup> メニュー画面を表示します。



- ・ **[^]**/**[v]** を押してページを切り替えると、他の項目を表示できます。
- ・ ポップアップショートカットメニューで **[設定]** を選択して **<設定>** 画面を表示することもできます (15 ページ)。
- ・ 以下の場合は **<オーディオ>** 設定画面を変更できません：
 - 本機がスタンバイ状態のとき (12 ページ)
 - Bluetooth 対応の電話機を使用しているとき (発信中または着信中、通話中、音声ダイヤル中)

設定

□ < オーディオ > 設定画面

< イコライザー >

サウンドモードを変更、または各ソースのイコライザーを調整して保存します。(43 ページ)

- ・ **イコライザー**：プリセットサウンドモードを選択します。
 - **Natural** (初期値) / **Rock/Pops/Easy/Top40/Jazz/Powerful/ユーザー**
- ・ **Q**：周波数の幅を調整します。
 - **1.35/1.5** (初期値) / **2.0**
- ・ **バスエクステンド**：バスを有効 / 無効にします。
 - **ON/OFF** (初期値)
- ・ **ウーファーレベル**：サブウーファアのレベルを調整します。
 - **-50 ~ +10** (初期値：0)

< サウンドエフェクト >

音響効果を調整します。

- ・ **ラウドネス**：低域と高域の音量を調整します。
 - **OFF** (初期値) / **Low/High**
- ・ **バスブースト**：低域音量の補正レベルを選択します。
 - **OFF** (初期値) / **Level 1/Level 2/Level 3/Level 4/Level 5**
- ・ **ドライブ EQ**：帯域幅を上げてロードノイズからの影響を軽減できます。
 - **OFF** (初期値) / **ON**
- ・ **スペースエンハンサー**^{*1}：デジタル信号プロセッサ (DSP) システムを使用して、音の空間を仮想的に広くします。広さのレベルを選択します。
 - **OFF** (初期値) / **Small/Medium/Large**

- ・ **サブリーム**^{*2}：オーディオ圧縮で失われたサウンドを補完してリアリティのあるサウンドを再現します。
 - **OFF/ON** (初期値)
- ・ **リアライザー**：デジタル信号プロセッサ (DSP) システムを使用して、仮想的によりリアリティのあるサウンドにします。サウンドレベルを選択します。
 - **OFF** (初期値) / **Level 1/Level 2/Level 3**
- ・ **サウンドライザー**：サウンドの中心を低くまたは高くできます。高さを選択します。
 - **OFF** (初期値) / **Low/Middle/High**

< フェダー / バランス >



フェダー：フロントスピーカーとリアスピーカーの出力バランスを調整します。

- ・ **F15 ~ R15** (初期値：0)
 - 2スピーカーシステムを使用している場合はフェダーをセンターに設定します (0)。

バランス：左スピーカーと右スピーカーの出力バランスを調整します。

- ・ **L15 ~ R15** (初期値：0)

[▲]/[▼]/[◀]/[▶] を押して、または [🎛️] をドラッグして調整します。

- ・ 調節結果をクリアするには、[センター] を押します。

< スピーカー / クロスオーバー >

車のタイプ / スピーカーのサイズを選択してクロスオーバー周波数を調整します。(44 ページ)

< タイムアライメント >

リスニングポジションを選択し、スピーカー出力のデレイ時間を調整して、ご使用の車両により適した環境にします。(45 ページ)

< ソースレベル >

各ソースの自動調節音量レベルを調節して保存します。(ディスクの場合、調整値は下記のカテゴリごとに保存されます：DVD/DVD-VR/VCD、CD、MPEG1/MPEG2/MP3/WMA/WAV/AAC/FLAC。) 音量レベルはソースを変更すると自動的に上下します。

- ・ **-15 ~ +6** (初期値：00)

^{*1} ソースとして [Radio] が選択されているときは設定を変更できません。

^{*2} この機能は、ソースとして [DISC] / [USB] / [iPod] / [Android™] が選択されているときのみ使用できます。

設定

□ < 画面 > 設定画面

< ディーマー >

- **Auto** (初期値) : ヘッドライトをオンにする
と画面とボタンのイルミネーションを減光します。
- ILLUMI リード接続が必要です。(56 ページ)
- **ON** : ディーマーを有効にします。
- **OFF** : キャンセルします。

< ユーザーカスタマイズ >

画面のデザインを変更します。(47 ページ)

< 映像中の時計表示 >

- **ON** : 映像ソースを再生中に時計を表示します。
- **OFF** (初期値) : キャンセルします。

< 店頭デモ >

- **ON** (初期値) : 画面で店頭デモを有効にします。
- **OFF** : キャンセルします。

< スクロール >

- **ON** (初期値) : 表示された情報を繰り返しスクロールします。
 - **1 回** : 表示された情報を 1 回だけスクロールします。
 - **OFF** : キャンセルします。
- [<] を押すとこの設定に関係なく文字をスクロールします。

< HOME カスタマイズ >

ホーム画面に表示する項目を変更することができます。(49 ページ)

< 画像調整 >

- 画面の明るさ、および色の濃さを調整します。
[Enter] を押して設定画面を表示し、**[DIM ON]** (ディーマーオン)/**[DIM OFF]** (ディーマーオフ) を選択し、続いて下記の設定を変更します。
- **明るさ** : 明るさを調節します。
- **-15 ~ +15** (初期値 : ディーマーオンの場合 **0** / ディーマーオフの場合 **+15**)

- **色の濃さ** : 色の濃さを調整します。
- **-10 ~ +10** (初期値 : **0**)

< Video Output >*1

外部モニターのカラーシステムを選択します。

- **NTSC** (初期値) / **PAL**

< パネル角度調整 >*2

パネル角度を調整します。(11 ページ)

< 視野角調整 >

画面が見やすくなるように視野角を調整します。

- **0°** (初期値) / **5° / 10° / 15° / 20°**

*1 設定が変更されると「電源を消してください。」と表示されます。変更を有効にするには電源を入れ直します。

*2 DDX6170BT/DDX6170 のみ。

□ < 入力 > 設定画面

< リアカメラ >

リアカメラの設定を行います。

- **リアカメラ割込み** (31 ページ) :
 - **ON** : シフトギアをリバース (R) に入れると、リアカメラからの画像を表示します。
 - **OFF** (初期値) : カメラが接続されていない場合に選択します。
- **パーキングガイド線表示** : パーキングガイド線を表示 (**ON** : 初期値) または非表示 (**OFF**) にします。(32 ページ)
- **パーキングガイド線設定** : パーキングガイド線の表示を調整します。(32 ページ)

□ < システム > 設定画面

< Clock >

時計を合わせます。(9 ページ)

< iPod 設定 >

iPod/iPhone の接続方法を指定します。(25 ページ)

< APP 設定 >*1

App の設定を行います。(42 ページ)

< Bluetooth 設定 >*1

接続やその他一般的な操作など、Bluetooth 機器を使用するときの設定を行います。(41 ページ)

< 操作音 >

- **ON** (初期値) : ボタンを押したときに操作音を出します。
- **OFF** : キャンセルします。

< セットアップメモリ >

設定した値を保存、呼び出し、クリアできます。(49 ページ)

< 簡易セキュリティ >*2

セキュリティ機能を有効または無効にします。(8 ページ)

< タッチパネル調整 >

画面上のボタンのタッチ位置を調節します。(51 ページ)

< システム情報 >

ソフトウェアのバージョン情報を表示します。ソフトウェアをアップデートできます。(50 ページ)

< オープンソースライセンス >

オープンソースライセンスを示します。

*1 DDX6170BT のみ。

*2 DDX3170 のみ。

接続 / 取り付け

本機を取り付ける前に

⚠ 警告

- ・イグニッションコード（赤）とバッテリーコード（黄）を車両のシャーシ（アース）に接続すると、回路がショートして火災の原因となる場合があります。これらのケーブルはヒューズボックスを通して、必ず電源に接続してください。
- ・イグニッションコード（赤）とバッテリーコード（黄）からヒューズを切り離さないでください。電源は必ずケーブルにヒューズを通して接続してください。

⚠ 接続および取り付けに関する注意事項

- ・本製品の取り付け・配線には技術と経験が必要です。安全のため取り付け・配線は専門の業者に依頼してください。
- ・必ず本機をマイナス 12V DC 電源にアースしてください。
- ・直射日光の当たる場所や、極端に暑いまたは湿度の高い場所に本機を設置しないでください。ホコリが極端に多い場所や、水に浸かる可能性がある場所も避けてください。
- ・お手持ちのネジを使用せず、付属のネジのみをご使用ください。誤ったネジを使用すると、本機を破損させる場合があります。

- ・電源がオンにならない場合（「接続エラー」、「電圧エラー」と表示されます）、スピーカーの配線がショートまたは車両のシャーシに接触して、保護機能がはたらいている可能性があります。そのため、スピーカーの配線を確認する必要があります。
- ・熱を発生する金属の部品から、すべてのケーブルを遠ざけてください。
- ・車両のエンジンキーに ACC ポジションがない場合、エンジンキーでオン / オフできる電源にイグニッションコードを接続してください。イグニッションコードをバッテリーコードなど、常に電圧のかかっている電源へ接続すると、バッテリーが消耗する場合があります。
- ・DDX6170BT/DDX6170のみ：コンソールにふたがある場合、モニターパネルを開閉するときに、モニターパネルがふたに当たらないように取り付けてください。
- ・ヒューズが飛んだ場合はまず、ケーブルが接触してショートしていないかを確認して、古いヒューズを同じグレードの新しいものと取り替えてください。
- ・接続していないケーブルはビニールテープまたは他の類似の材料で絶縁してください。ショートするのを防ぐために、接続していないケーブルまたは端子の端部のキャップは取りはずさないでください。
- ・スピーカーのケーブルは対応する端子に正しく接続してください。⊖ ケーブルを共有したり車内の金属部品にアースしたりした場合、本機が破損する、または動作しない場合があります。

- ・システムに 2 つのスピーカーのみ接続している場合、両方のコネクタをフロント出力端子またはリア出力端子のどちらかに接続してください（フロントとリアの両方に接続しないでください）。例えば、左スピーカーの ⊕ コネクタをフロント出力端子に接続した場合は、⊖ コネクタをリア出力端子に接続しないでください。
- ・本機を取り付けた後に、車両のブレーキランプ、ウインカー、ワイパーなどが正しく動作するか確認してください。
- ・取り付け角度が 30° 以下になるように本機を取り付けてください。
- ・本機を車両に取り付けるときにパネルの表面を強く押さないでください。強く押すと、キズ、破損、故障を引き起こす場合があります。

⚠ 注意

本機はご使用の車両のコンソールに取り付けてください。
本機の使用中および使用直後は、本機の金属部品に触れないでください。ヒートシンクやエンクロージャなどの金属部品は熱くなっています。

接続 / 取り付け

□取り付け用の付属アクセサリ

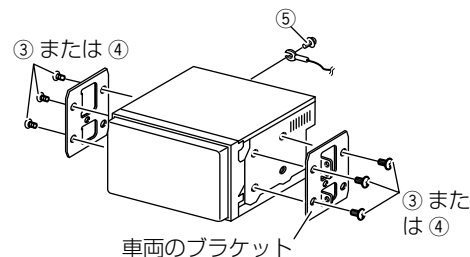
- ① ワイヤリングハーネス ×1
- ② 延長ケーブル (2 m) ×1
- ③ サラネジ (M5×8 mm) ×6
- ④ トラスネジ (M5×8 mm) ×6
- ⑤ セムスネジ (M4×8 mm) ×1
- ⑥ マイク (3 m) ×1*

* DDX6710BTのみ。

□取り付け手順

- 1 ショートを防ぐために、エンジンキーを抜いて⊖バッテリーの接続をはずします。
- 2 ユニットごとに正しい入力および出力の配線を接続します。
- 3 ワイヤリングハーネスのスピーカーケーブルに接続します。
- 4 ワイヤリングハーネスのケーブルをアース、バッテリー、エンジンキーの順序で接続します。
- 5 ワイヤリングハーネスのコネクタを本機に接続します。
- 6 本機をご使用の車両に取り付けます。
 - ・本機を適切な場所にしっかりと取り付けます。取り付けが不安定な場合は、音声飛ばすなど、不具合が起こる可能性があります。
- 7 ⊖バッテリーを再接続します。
- 8 リセットボタンを押します。(6 ページ)
- 9 <初期設定> で設定を行います。(8 ページ)

本機の取り付け



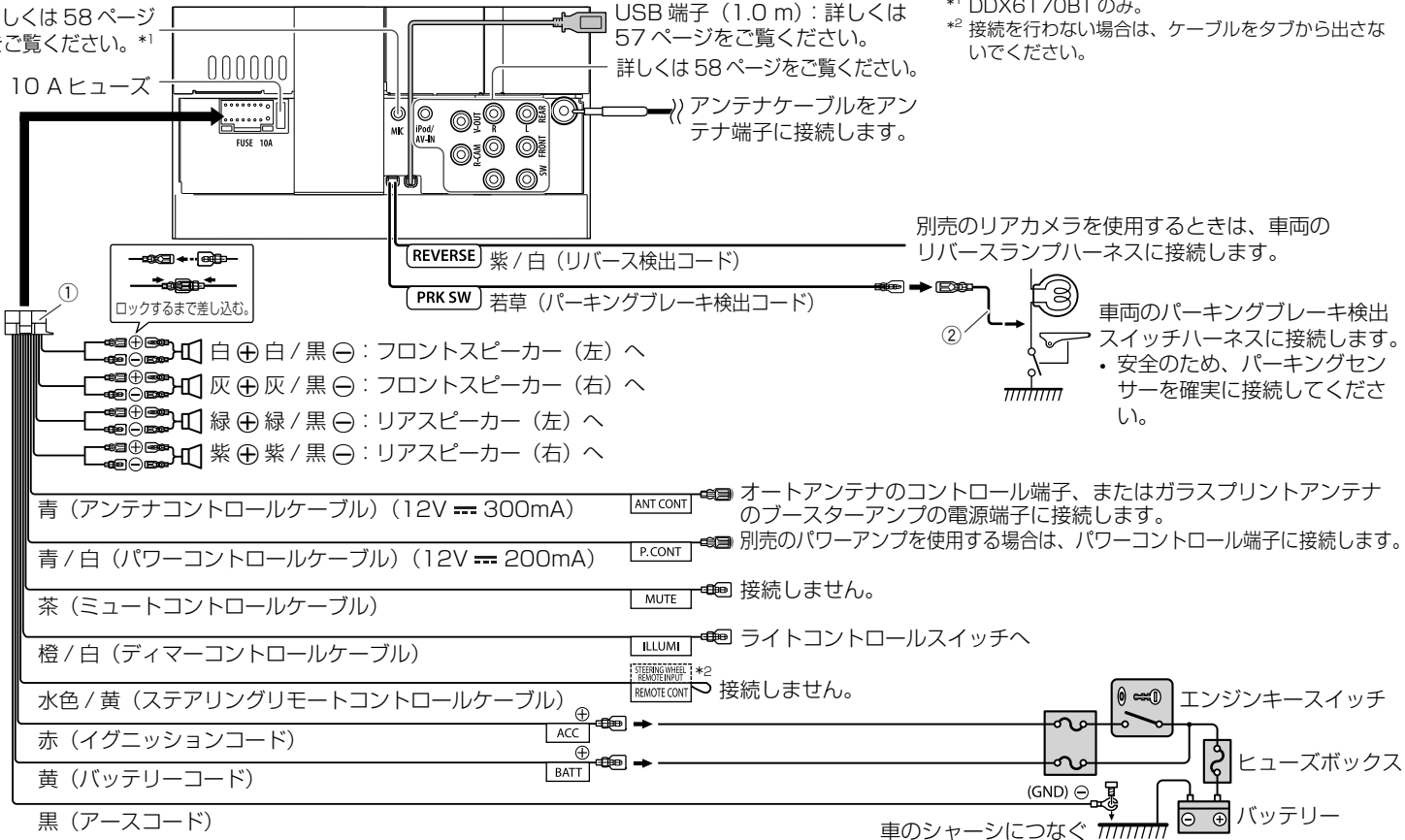
- ・取り付けブラケットに適切なタイプのネジを選択します: サラネジ (③) または トラスネジ (④)。
- ・アースコードが配線キット (別売品) に付属している場合、セムスネジ (⑤) を使用してリアパネルに固定します。

接続 / 取り付け

接続

ケーブルを端子に接続する

詳しくは 58 ページをご覧ください。*1



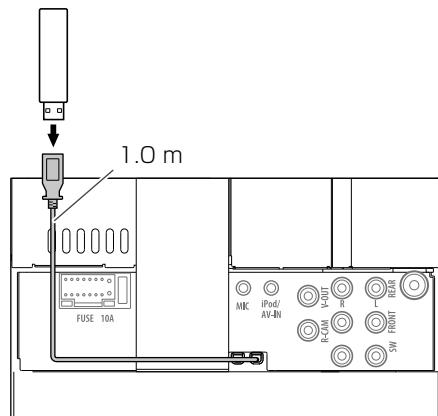
*1 DDX6170BT のみ。

*2 接続を行わない場合は、ケーブルをタブから出さないでください。

接続 / 取り付け

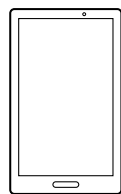
□ USB 機器を接続する

USB 機器*
(市販品)



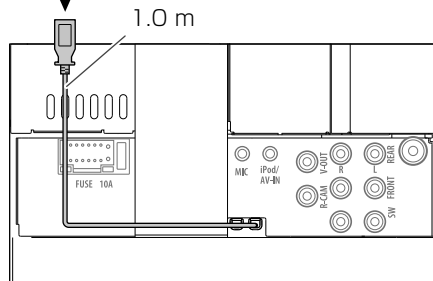
* ケーブルを延長する場合は、必要に応じてCA-U1EXを使用します。(最大 500 mA、5V)

□ Android 機器を接続する



Android 機器
(市販品)

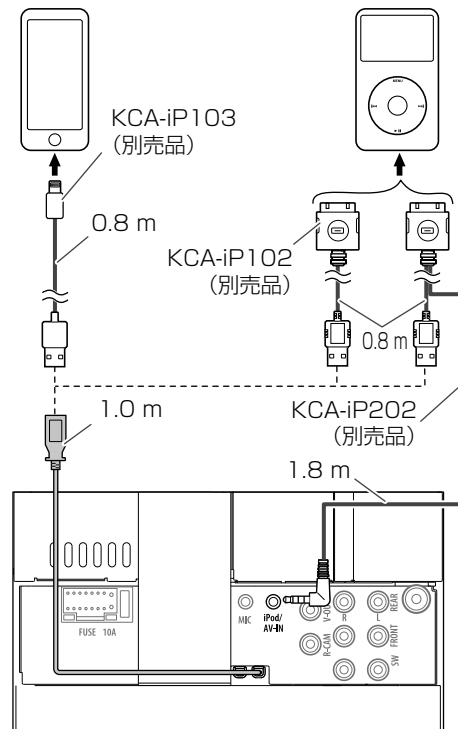
USB 2.0 ケーブル
(市販品)



□ iPod/iPhone を接続する

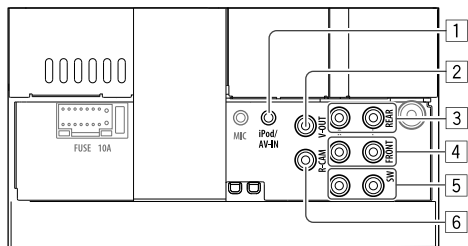
iPod/iPhone (Lightning
コネクタ搭載モデル)
(市販品)

iPod/iPhone (30ピン
コネクタ搭載モデル)
(市販品)



接続 / 取り付け

外部機器を接続する



- 1 iPod/ オーディオ映像入力 (iPod/AV-IN) *1
- 2 映像出力 (黄)
- 3 リアプリアウト *2
 - ・ 左音声出力 (白)
 - ・ 右音声出力 (赤)

- 4 フロントプリアウト *2
 - ・ 左音声出力 (白)
 - ・ 右音声出力 (赤)
- 5 サブウーファープリアウト *2
 - ・ 左サブウーファー出力 (白)
 - ・ 右サブウーファー出力 (赤)
- 6 リアカメラ入力 (黄)

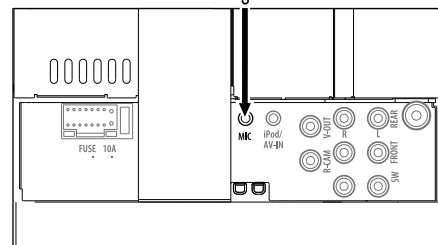
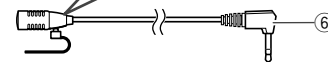
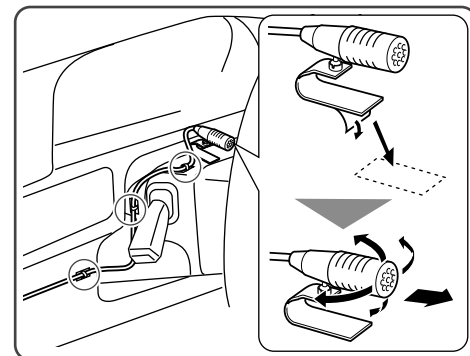
*1 [AV-IN] で再生する機器を接続するときは、オーディオ・ビデオケーブル CA-C3AV (別売品) を使用します。

*2 外部アンプを接続するときは、アースコードを車両のシャーシに接続します。接続しないと本機が破損する場合があります。

Bluetooth 対応のマイクを接続する (DDX6170BT のみ)

マイク (6) を MIC 端子に接続します。

- ・ マイクを取り付けるには、粘着テープをはがして取り付け位置に固定し、マイクの方向がドライバー側に向くように調整します。取り付けただ後に、マイクのコードをクランプ (市販品) で車両に固定します。



本機のお手入れについて

□本機をお掃除する際の注意

溶剤（シンナーやベンジンなど）、洗剤、殺虫剤を使用しないでください。モニターまたは本機を破損する場合があります。

推奨する掃除方法：

パネルを柔らかく乾いた布で軽くふきます。

□結露

以下の場合に本機内部のレンズで水分が結露する可能性があります：

- 暖房を使用した後。
 - 車中の湿度が非常に上がった場合。
- このようなことが発生した場合、本機が故障する場合があります。このような場合は、ディスクを取り出して、水分が蒸発するまで数時間本機の電源をオンにしておきます。

□ディスクの取り扱い方法

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースのセンターホルダーを押し下げディスクの端を押さえて持ち上げます。



- 必ずディスクの端を持ちます。記録面に触れないでください。
- ディスクをケースに保存するときには、センターホルダーの周りに（印刷面を上にして）軽くディスクを挿入します。
- ディスクの使用後は、必ずケースに入れて保存してください。

□ディスクをきれいに保つ方法

ディスクが汚れていると正しく再生されない場合があります。

ディスクが汚れたら、柔らかい布で中心から外側に向かってまっすぐふいてください。



- ディスクの掃除に溶剤（従来のレコードクリーナー、スプレー、シンナー、ベンジンなど）を使用しないでください。

□新しいディスクを再生するには

新しいディスクは、内側および外側の端の周りがざらざらしていることがあります。そのようなディスクを使用すると本機がディスクを受け付けない場合があります。



- ざらつきを取り除くには、端の部分を鉛筆やボールペンなどでこすります。

詳細情報

□ファイルの再生

MPEG1/MPEG2 ファイルを再生する

- 本機は <.mpg> または <.mpeg> の拡張子が付いた MPEG1/MPEG2 ファイルを再生できます。
- ストリーム形式は MPEG システム / プログラムストリームに適合する必要があります。ファイル形式は MP@ML (Main Profile at Main Level) / SP@ML (Simple Profile at Main Level) / MP@LL (Main Profile at Low Level) である必要があります。
- オーディオストリームは MPEG1 Audio Layer-2 または Dolby Digital に適合する必要があります。

JPEG ファイルを再生する

- 本機は <.jpg> または <.jpeg> の拡張子が付いた画像ファイルを再生できます。
- 本機は解像度が 32 × 32 から 8192 × 7680 までのファイルを再生できます。解像度によってはファイルを表示するのに時間がかかる場合があります。
- 本機はベースライン JPEG ファイルを再生できます。プログレッシブ JPEG ファイルまたはロスレス JPEG ファイルは再生できません。

資料

オーディオファイル (MP3/WMA/WAV/AAC/FLAC) を再生する

- 本機は以下の拡張子を持つファイルを再生することができます。
 - ディスク上のファイル:<.mp3>、<.wma>、<.wav>、<.m4a>
 - USB マスストレージクラスデバイス内のファイル:<.mp3>、<.wma>、<.wav>、<.aac>、<.m4a>、<.flac>
- 本機は下記の条件を満たすファイルを再生できます：
 - ビットレート：
 - MP3：8 kbps ~ 320 kbps
 - WMA：ディスク：5 kbps ~ 320 kbps
USB：32 kbps ~ 192 kbps
 - AAC：16 kbps ~ 320 kbps
 - サンプリング周波数
 - MP3/WMA：8 kHz ~ 48 kHz
 - WAV：44.1 kHz
 - AAC：32 kHz ~ 48 kHz
 - FLAC：8 kHz ~ 48 kHz
- 本機は ID3 Tag バージョン 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 (MP3) を表示できます。
- 本機は、WMA/WAV/AAC/FLAC タグも表示できます。
- 本機は VBR (variable bit rate) で記録されたファイルを再生できます。
- VBR で記録されたファイルは、経過時間の表示が異なります。
- 本機は下記のファイルを再生できません：
 - MP3i および MP3 PRO 形式でエンコードされた MP3 ファイル
 - Layer 1/2 でエンコードされた MP3 ファイル
 - ロスレス、プロフェッショナル、voice 形式でエンコードされた WMA ファイル
 - Windows Media® Audio に基づいていない WMA ファイル
 - DRM でコピー保護された WMA/AAC ファイル
 - FairPlay でコピー保護された AAC ファイル (iPod/iPhone に保存されたものを除く)

- AIFF、ATRAC3 などのデータがあるファイル
- 本機は下記の条件を満たすジャケット画像を表示できます：
 - 画像サイズ：解像度 32×32 ~ 1232×672
 - データサイズ：500 KB 未満
 - ファイルタイプ：JPEG

□ディスク再生

再生可能なディスクの種類

ディスクの種類	記録形式、ファイル形式など
DVD <ul style="list-style-type: none">• DTS サウンドは本機では再生・出力できません。	DVD ビデオ * ¹
記録可能 / 書き換え可能 DVD (DVD-R/-RW*²、+R/+RW*³) <ul style="list-style-type: none">• DVD ビデオ：UDF bridge• DVD-VR• MPEG1/MPEG2/MP3/WMA/WAV/AAC：ISO 9660 レベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet	<ul style="list-style-type: none">• DVD ビデオ• DVD-VR• MPEG1/MPEG2/JPEG• MP3/WMA/WAV/AAC (.m4a)
デュアルディスク	DVD サイド
CD/VCD	<ul style="list-style-type: none">• VCD (ビデオ CD)• オーディオ CD/CD テキスト (CD-DA)
記録可能 / 書き換え可能 CD (CD-R/-RW) <ul style="list-style-type: none">• ISO 9660 レベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet	<ul style="list-style-type: none">• VCD (ビデオ CD)• CD-DA• MPEG1/MPEG2/JPEG• MP3/WMA/WAV/AAC (.m4a)

- *¹ DVD リージョンコード 2 不正なリージョン番号の DVD ビデオディスクを挿入すると、「リージョンコードエラー」と画面に表示されます。
- *² マルチボーダー形式で記録された DVD-R も再生できます (2 層ディスクを除く)。DVD-RW2 層ディスクは再生できません。
- *³ ファイナライズ処理を行った +R/+RW (映像形式のみ) ディスクを再生できます。+R/+RW ディスクを挿入すると、ディスクタイプに「DVD」が選択されます。+RW2 層ディスクは再生できません。

再生できないディスク

- 再生できないディスクの種類および形式は以下の通りです：
 - DVD オーディオ /DVD-ROM ディスク
 - DVD-R/RW または +R/+RW に記録された MPEG4/AAC (.aac)/DivX/FLAC/MKV/DVD+VR/DVD-RAM
 - SVCD (スーパービデオ CD)、CD-ROM、CD-I (CD-I Ready)、DTS-CD
 - CD-R/RW に記録された MPEG4/AAC (.aac)/FLAC/MKV
- 円形でないディスク
- 記録面にカラーリングが施されている、または汚れているディスク
- ファイナライズ処理を行っていない記録可能 / 書き換え可能ディスク
- 8 cm ディスク (アダプタを使用してこれらのディスクを挿入すると、不具合が起こる場合があります。)

デュアルディスクの再生

「デュアルディスク」の非 DVD サイドは「コンパクト・ディスク・デジタル・オーディオ」規格に準拠していません。そのため、デュアルディスクの非 DVD サイドの使用は本製品では推奨できません。

記録可能 / 書き換え可能ディスクを再生する

- 本機は合計で5000ファイルおよび250フォルダを認識できます（1フォルダごとに最大999ファイル）。
- ファイナライズ処理を行ったディスクのみを使用してください。
- 本機はマルチセッションディスクを再生できません。ただしクローズされていないセッションは再生中にスキップされます。
- ディスクまたファイルがその特性または記録状況によって再生できない場合があります。

□接続したUSB機器 / iPod/iPhone/ Android に記録されたデータについて

- 本機使用中のiPod/iPhone、Android、USBマストレージークラスデバイス内のデータ消失に関して当社は一切その責任を負いません。

□USB再生

USB機器上で再生できるファイル

- 本機はUSBマストレージークラスデバイスに保存された下記のタイプのファイルを再生できます：
 - JPEG/MPEG1/MPEG2/MP3/WMA/WAV/AAC(.aac/.m4a)/FLAC
- 本機は以下のファイル/フォルダを認識することができます。
 - 全ファイル総数：5000
 - 映像ファイルの場合：最大フォルダ数250、フォルダ内の最大ファイル数999
 - 画像ファイルの場合：最大フォルダ数250、フォルダ内の最大ファイル数999
 - オーディオファイルの場合：最大フォルダ数、フォルダ内の最大ファイル数ともに999
- データの消失を防ぐためにすべての重要なファイルを必ずバックアップしてください。

USB機器使用に関する注意

- USB延長ケーブルを使用すると、USB機器上のファイルを正しく再生できない場合があります。
- データセキュリティ機能などの特別な機能を備えたUSB機器は、本機では使用できません。
- 2つ以上のパーティションがあるUSB機器を使用しないでください。
- USB機器および接続ポートの形状によって、USB機器が正しく接続できないまたは接続がゆるくなる場合があります。
- USBカードリーダーに挿入されたメモ리카ードを本機が認識しない場合があります。
- USBケーブルで接続する場合はUSB 2.0ケーブルを使用してください。
- 最大文字数（1バイト文字の場合）：
 - フォルダ名：50文字
 - ファイル名：50文字
- 運転の安全に影響を及ぼす可能性がある場合はUSB機器の使用を止めてください。
- 画面に「読み込み中」と表示されているときにUSB機器を何度も抜き差ししないでください。
- USB機器を接続する際の静電気ショックにより、機器の再生に異常が発生する場合があります。この場合は、USB機器を取りはずして本機とUSB機器をリセットします。
- USB機器で操作および電源の供給が、意図したとおりに動作しない場合があります。
- USB機器の変形や破損を防ぐために、車内に放置したり直射日光や高温に当てたりしないでください。

□iPod/iPhoneの再生に関する注意

- 本機に接続できるiPod/iPhone：
 - USBケーブルで接続
Made for
 - iPod nano (7th Generation)*1
 - iPod touch (6th Generation)*1
 - iPod touch (5th Generation)*1
 - iPhone SE*1
 - iPhone 6S Plus*1
 - iPhone 6S*1
 - iPhone 6 Plus*1
 - iPhone 6*1
 - iPhone 5S*1
 - iPhone 5C*1
 - iPhone 5*1
 - iPhone 4S
 - Bluetoothで接続（DDX6170BTのみ）*2：
Made for
 - iPod touch (6th Generation)
 - iPod touch (5th Generation)
 - iPhone SE
 - iPhone 6S Plus
 - iPhone 6S
 - iPhone 6 Plus
 - iPhone 6
 - iPhone 5S
 - iPhone 5C
 - iPhone 5
 - iPhone 4S

*1 Lightning コネクタ搭載モデルを接続しているときは、映像を見ることができません。

*2 Bluetooth 経由で接続しているときは、映像を見ることができません。

資料

- iPod/iPhone を操作するときに、操作が正確にまたは意図したとおりにできない場合があります。この場合は下記 URL の KENWOOD の Web サイトを参照してください。<www.kenwood.com/jp/car/>
- iPod/iPhone の機種によっては、操作中に動作に異常をきたしたり、不安定になったりする場合があります。この場合は iPod/iPhone を取りはずして状態を確認してください。動作が改善しないまたは遅い場合は、iPod/iPhone をリセットします。
- 本機の電源をオンにすると、本機を通して iPod/iPhone は充電されます。
- テキスト情報が正確に表示されない場合があります。

□言語コード (DVD/DVD-VR 言語選択用)

AA	アファル語	GL	ガルシア語	MI	マオリ語	SO	ソマリ語
AB	アブジャ語	GN	グアラニ語	MK	マケドニア語	SQ	アルバニア語
AF	アフリカンス語	GU	グジャラート語	ML	マラヤーラム語	SR	セルビア語
AM	アムハラ語	HA	ハウサ語	MN	モンゴル語	SS	シスワティ語
AR	アラビア語	HI	ヒンディー語	MO	モルダビア語	ST	セストゥ語
AS	アッサム語	HR	クロアチア語	MR	マラータ語	SU	スダ語
AY	アイマラ語	HU	ハンガリー語	MS	マレー語	SW	スワヒリ語
AZ	アゼルバイジャン語	HY	アルメニア語	MT	マルタ語	TA	タミール語
BA	バシキール語	IA	国際語	MY	ミャンマー語	TE	テルグ語
BE	ベラルーシ語	IE	インターリング語	NA	ナウル語	TG	タジク語
BG	ブルガリア語	IK	イヌピアック語	NE	ネパール語	TH	タイ語
BH	ビハーリー語	IN	インドネシア語	NO	ノルウェー語	TI	ティグリニャ語
BI	ビスラマ語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TK	トゥルクメン語
BN	ベンガル語、バングラ語	IW	ヘブライ語	OM	(アフアン) オロモ語	TL	タガログ語
BO	チベット語	JA	日本語	OR	オリヤー語	TN	セツワナ語
BR	ブルトン語	JL	イディッシュ語	PA	パンジャブ語	TO	トンベク語
CA	カタロニア語	JW	ジャワ語	PL	ポーランド語	TR	トルコ語
CO	コルシカ語	KA	グルジア語	PS	パシュトー語	TS	ツォンガ語
CS	チェコ語	KK	カザフ語	QU	ケチュア語	TT	タター語
CY	ウェールズ語	KL	グリーンランド語	RM	ラエティ=ロマン語	TW	トウイ語
DZ	ブータン語	KM	カンボジア語	RN	キルディ語	UK	ウクライナ語
EL	ギリシャ語	KN	カナダ語	RO	ルーマニア語	UR	ウルドゥー語
EO	エスペラント語	KO	韓国語	RW	キニヤルワンダ語	UZ	ウズベク語
ET	エストニア語	KS	カシミール語	SA	サンスクリット語	VI	ベトナム語
EU	バスク語	KU	クルド語	SD	シンド語	VO	ボラビュク語
FA	ペルシャ語	KY	キルギス語	SG	サンゴ語	WO	ウォロフ語
FI	フィンランド語	LA	ラテン語	SH	セルボ=クロアチア語	XH	コーサ語
FJ	フィジー語	LN	リンガラ語	SI	シンハラ語	YO	ヨルバ語
FO	フェロー語	LO	ラオス語	SK	スロバキア語	ZU	ズール語
FY	フリジア語	LT	リトアニア語	SL	スロベニア語		
GA	アイルランド語	LV	ラトビア語、レット語	SM	サモア語		
GD	スコットランドゲール語	MG	マダガスカル語	SN	ショナ語		

エラーメッセージ一覧

本機を使用中にエラーが発生したらメッセージが表示されます。下記のメッセージ / 対処法 / 原因一覧に従って適切な処置を行ってください。

「映像信号がありません。」 / 「No Video Signal」:

- iPod/AV-IN 入力端子に接続した外部機器を再生しました。
- ケーブルおよび接続を確認します。
- 信号入力が弱すぎます。

「接続エラー」 / 「電圧エラー」:

- スピーカーのケーブルがショートしている、または車両のシャーシに接触しています。スピーカーのケーブルを適切に配線または絶縁して、本機をリセットします。(6 ページおよび 56 ページ)

「パーキングオフ」:

- パーキングブレーキが引かれていないと再生画像は表示されません。

「認証エラー」:

- 接続した iPod/iPhone が本機に対応しているか確認します。(61 ページ)

「USB デバイスエラー」:

- USB の電圧に異常があります。
- 本機の電源を入れ直します。
- 他の USB 機器を接続します。

「パネル動作エラー」:

- パネルが適切に動作していません。本機をリセットします。

「Connection Error」:

- 機器が登録されましたが、接続に失敗しました。登録されている機器を接続します。(36 ページ)

「しばらくお待ちください」:

- Bluetooth 機能を使用する準備中です。メッセージが消えない場合は、本機の電源を入れ直してもう一度機器を接続します (または本機をリセットします)。

「No Voice Device」:

- 接続した携帯電話に音声認識システムがありません。

「データがありません」:

- 接続した Bluetooth 電話機に電話帳が含まれていません。

「初期化エラー」:

- Bluetooth モジュールの初期化に失敗しました。もう一度操作します。

「ダイヤルエラー」:

- ダイヤルに失敗しました。もう一度操作します。

「Hung Up Error」:

- 通話はまだ終了していません。停車して、接続した携帯電話で通話を終了します。

「ピックアップエラー」:

- 着信に失敗しました。

故障かな?と思ったら

トラブルと思われることでも、故障であるとは限りません。サービスセンターに連絡する前に下記の点を確認してください。

- 外部機器の操作に関しては、接続に使用するアダプタに添付された説明書もご覧ください (また、外部機器に付属する説明書もご覧ください)。

□一般

スピーカーから音が出ない。

- 音量を適切なレベルに調節します。
- ケーブルおよび接続を確認します。

画面に画像が表示されない。

- 画面をオンにします。(12 ページ)

本機がまったく動作しない。

- 本機をリセットします。(6 ページ)

□ディスク

記録可能 / 書き換え可能ディスクを再生できない。

- ・ファイナライズ処理をしたディスクを挿入します。
- ・記録に使用した機器でディスクのファイナライズ処理をします。

記録可能 / 書き換え可能ディスクのトラックをスキップできない。

- ・ファイナライズ処理をしたディスクを挿入します。
- ・記録に使用した機器でディスクのファイナライズ処理をします。

再生が始まらない。

- ・ファイル形式が本機に対応していない。

外部モニターに画像が表示されない。

- ・映像ケーブルを正しく接続します。
- ・外部モニターの正しい入力を選択します。

**MPEG1/MPEG2/MP3/WMA/WAV/AAC
ディスクが再生できない。**

- ・適切なディスクに対応しているアプリケーションでトラックを記録します。(60 ページ)
- ・ファイル名に適切な拡張子を追加します。

記録可能 / 書き換え可能ディスクのトラックが意図したとおりに再生できない。

- ・再生の順番は他のプレーヤーを使用した場合と異なる場合があります。

□USB

「読み込み中」が画面から消えない。

- ・電源をもう一度入れ直します。

トラックの再生中に音声が中断することがある。

- ・トラックが USB 機器に正しくコピーされていません。トラックをもう一度コピーして、再生してください。

トラックが意図したとおりに再生されない。

- ・再生の順番は他のプレーヤーを使用した場合と異なる場合があります。

□Android

再生中に音声が聞こえない。

- ・Android 機器を再接続します。
- ・<Android 設定> が [HAND モード] に設定されているときは、Android 機器でメディアプレーヤーのアプリケーションを起動して再生します。

Android 機器からのみ音声が出力される。

- ・<Android 設定> が [HAND モード] に設定されているときは、現在のメディアプレーヤーのアプリケーションを再度起動する、または他のメディアプレーヤーのアプリケーションを使用します。
- ・Android 機器を再起動します。
- ・上記の方法で問題が解決しない場合は、接続している Android 機器は本機に音声信号を送ることができません。

<Android 設定> が [ブラウズモード] に設定されていると再生できない。

- ・KENWOOD Music Play APP が Android 機器にインストールされていることを確認します。
- ・Android 機器を再接続して適切なコントロールモードを選択します。
- ・上記の方法で問題が解決しない場合は、接続している Android 機器はブラウズモードに対応していません。

「デバイスがありません。」または「読み込み中」が点滅し続ける。

- ・Android 機器の「開発者向けオプション」をオフにします。
- ・Android 機器を再接続します。
- ・上記の方法で問題が解決しない場合は、接続している Android 機器はブラウズモードに対応していません。

□iPod/iPhone

スピーカーから音が出ない。

- ・iPod/iPhone を取り外してもう一度接続します。
- ・他のソースを選択して、もう一度 [iPod] を選択します。

iPod/iPhone がオンにならない、または動作しない。

- ・接続ケーブルとその接続を確認します。
- ・ファームウェアのバージョンをアップデートします。
- ・バッテリーを充電します。
- ・iPod/iPhone をリセットします。

音声が歪む。

- ・本機または iPod/iPhone のイコライザーを無効にします。

ノイズが多く発生する。

- ・iPod/iPhone の [VoiceOver] をオフまたはチェックを外します。詳細については、下記の URL をご覧ください。<<http://www.apple.com>>

資料

アートワークを含んだトラックを再生中に操作ができない。

- アートワークのロード後に本機を操作します。

映像が再生できない。

- iPod/iPhone30 ピンコネクタ搭載モデルは、USB オーディオ・ビデオケーブル KCA-iP202 (別売品) で接続します。その他のケーブルは使用できません。
- <iPod 設定> で [USB + AV-IN] を選択します。(25 ページ)

映像の音が出ない。

- iPod/iPhone30 ピンコネクタ搭載モデルは、USB オーディオ・ビデオケーブル KCA-iP202 (別売品) で接続します。その他のケーブルは使用できません。
- <iPod 設定> で [USB + AV-IN] を選択します。(25 ページ)

□ ラジオ

AME (オートメモリー) 自動プリセットが動作しない。

- 放送局をマニュアルで登録します。(30 ページ)

ラジオを聞いているときにノイズが発生する。

- アンテナをしっかりと接続します。

□ AV-IN

ホーム画面で「AV-IN」が選択できない。

- <iPod 設定> で [USB + AV-IN] を選択します。(25 ページ)

画面に画像が表示されない。

- 映像機器の電源が入っていない場合は、電源を入れてください。

□ Bluetooth (DDX6170BT のみ) 通話の音質が悪い。

- 本機と Bluetooth 対応の携帯電話の距離を近づけます。
- 信号をより良く受信できる場所に車を移動します。

Bluetooth オーディオプレーヤーを使用中に音声がか断またはスキップする。

- 本機と Bluetooth オーディオプレーヤーの距離を近づけます。
- Bluetooth 対応の電話機用に接続している機器の接続を解除します。
- 本機の電源を入れ直します。(音声がかそれでも戻らないときは) プレーヤーをもう一度接続します。

接続したオーディオプレーヤーをコントロールできない。

- 接続したオーディオプレーヤーが AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) に対応しているか確認します。

Bluetooth 機器が本機を検出しない。

- Bluetooth 機器からもう一度サーチします。

本機が Bluetooth 機器とペアリングしない。

- Bluetooth 2.1 対応の機器：PIN コードを使用して機器を登録します。(35 ページ)
- Bluetooth 2.0 対応の機器：本機と機器の両方で同じ PIN コードを入力します。機器の PIN コードが説明書に示されていない場合は「0000」または「1234」を試します。
- Bluetooth 機器の電源を入れ直します。

エコーまたはノイズが発生する。

- マイクユニットの位置を調整します。
- エコー音量またはノイズリダクション音量を調節します。(37 ページ)

本機に電話帳を保存しようとしても本機が応答しない。

- 同じものを以前に本機に保存した可能性があります。

仕様

□ モニター部

画面サイズ (幅 × 高さ)	
DDX6170BT/DDX6170 :	7.0V 型ワイド 156.6 mm × 81.6 mm
DDX3170 :	6.2V 型ワイド 137.52 mm × 77.232 mm
表示方式	透過 TN 型
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画素数	1 152 000 (800H × 480V × RGB)
有効画素数	99.99%
画素配列	RGB ストライプ配列
使用光源 (照明方式)	LED

資料

□DVD プレーヤー部

D/A コンバータ 24 bit

オーディオフォーマット

リニア PCM/Dolby Digital/
MP3/WMA/WAV/AAC (.m4a)

ビデオフォーマット

MPEG1/MPEG2/JPEG

ワウ & フラッター 測定限界以下

周波数特性

96 kHz サンプリング時:

20 Hz ~ 22 000 Hz

48 kHz サンプリング時:

20 Hz ~ 22 000 Hz

44.1 kHz サンプリング時:

20 Hz ~ 20 000 Hz

高周波歪率 0.010% (1 kHz)

S/N 比 99 dB (DVD-Video 96 kHz)

ダイナミックレンジ

99 dB (DVD-Video 96 kHz)

ディスクフォーマット

DVD-Video/DVD-VR/VIDEO-
CD/CD-DA/CPRM

サンプリング周波数

44.1 kHz/48 kHz/96 kHz

量子化ビット数 16/20/24 ビット直線

□USB I/F 部

USB 規格 USB 2.0 Full Speed/High
Speed

USB クラス マスストレージクラス

ファイルシステム FAT 16/32

最大供給電流 DC 5 V $\bar{\equiv}$ 1.5 A

D/A コンバータ 24 bit

オーディオフォーマット

MP3/WMA/AAC (.aac/.m4a)/
WAV/FLAC

ビデオフォーマット

MPEG1/MPEG2/JPEG

□Bluetooth 部 (DDX6170BT のみ)

Bluetooth バージョン

Bluetooth V3.0

動作周波数 2.402 GHz ~ 2.480 GHz

出力電力 +4 dBm (最大)、0 dBm (平均)、
Power Class 2

最大通信距離 見通し距離約 10 m

対応コーデック SBC/AAC

対応プロファイル HFP 1.6

A2DP 1.3

AVRCP 1.5

GAP

PBAP 1.2

SDP

SPP 1.2

□DSP 部

グラフィックイコライザー

バンド 13 バンド

周波数 (Hz) (1-13 バンド)

62.5/100/160/250/400/
630/1k/1.6k/2.5k/4k/6.3k/
10k/16k

ゲイン -9/-8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/
-1/0/1/2/3/4/5/6/7/8/9 dB

Q ファクター 1.35/1.5/2.0

2 Way クロスオーバー

ツイーター

周波数 (Hz) 1k/1.6k/2.5k/4k/5k/6.3k/
8k/10k/12.5k

ゲイン -8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/
0 dB

フロント / リア (HPF) :

周波数 (Hz) Through/30/40/50/60/70/
80/90/100/120/150/180/
220/250

スロープ -6/-12/-18/-24 dB/Oct.

ゲイン -8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/
0 dB

サブウーファー (LPF) :

周波数 (Hz) 30/40/50/60/70/80/90/
100/120/150/180/220/
250/Through

スロープ -6/-12/-18/-24 dB/Oct.

位相 ノーマル / 反転

ゲイン -8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/
0 dB

ポジション

フロント / リア / サブウーファー ディレイ

0 cm ~ 610 cm (2.0 cm ス
テップ)

ゲイン -8 dB ~ 0 dB

サブウーファーレベル

-50 dB ~ +10 dB

資料

□FM チューナー部

受信周波数範囲 (100 kHz)	76.0 MHz ~ 99.0 MHz
実用感度 (S/N : 30 dB)	7.2 dBf (0.63 μ V/75 Ω)
感度 (S/N : 50 dB)	15.2 dBf (1.58 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz ~ 15 kHz
S/N 比	68 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	\geq 80 dB
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

□AM チューナー部

受信周波数範囲 (9 kHz)	522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度	29 dB μ

□映像部

映像方式	NTSC/PAL
外部映像入力レベル (ϕ 3.5 端子)	1 Vp-p/75 Ω
外部音声最大入力レベル (ϕ 3.5 端子)	2 V/25 k Ω
外部映像入力レベル (RCA 端子)	1 Vp-p/75 Ω
映像出力レベル (RCA 端子)	1 Vp-p/75 Ω

□オーディオ部

最大出力 (フロント/リア)	50 W \times 4
定格出力 (フロント/リア)	30 W \times 4 (4 Ω 、1 kHz、10%THD)
プリアウトレベル	4 V/10 k Ω
プリアウトインピーダンス	\leq 600 Ω
スピーカーインピーダンス	4 Ω ~ 8 Ω

□電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	14.4 V (10.5 V ~ 16 V)
最大消費電流	10 A
本体埋込寸法 (幅 \times 高さ \times 奥行)	178 mm \times 100 mm \times 162 mm
使用温度範囲	-10°C ~ +60°C
重量 (本体)	DDX6170BT/DDX6170 : 2.3 kg DDX3170 : 1.7 kg

仕様およびデザインは予告なく変更になる場合があります。

□ 商標およびライセンス

- Dolby, Dolby Audio, およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- DVD ロゴは、米国、日本、およびその他の国において登録されている、DVD Format/ Logo Licensing Corporation の商標です。
- AAC ロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft および Windows Media は、Microsoft Corporation の米国、および / またはその他の国における登録商標または商標です。
- "Made for iPod," and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone may affect wireless performance. iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Lightning is a trademark of Apple Inc.
- This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.
- Font for this product is designed by Ricoh.
- SPOTIFY and the Spotify logo are among the registered trademarks of Spotify AB.

- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)
- Android is a trademark of Google Inc.
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by JVC KENWOOD Corporation is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

- libFLAC
Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009
Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
 - Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 - Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 - Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
- THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

保証書	この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間	お買い上げの日より 1年 です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● ホームページ

<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

● JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）

0570-010-114（携帯電話、PHSからはナビダイヤル）

045-450-8950（一部IP電話など） 受付時間などは裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」（P.63）を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。

保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）

- 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

Spotify

Spotify を使うと、あらゆる場所で音楽を楽しむことができます。ワークアウト、パーティー、そしてリラックスしたいとき。指先ひとつでその場面に合った音楽を選べます。Spotify は数百万の楽曲一昔からの愛唱歌や最新のヒット曲まで一をストック。好きな曲を自分で選んでも、Spotify におまかせでも OK です。

接続している iPod touch/iPhone または Android*¹ 機器から、Spotify のストリーム再生ができます。

- ご使用の iPod touch/iPhone または Android*¹ 機器に、最新の Spotify をインストールし、アカウントを作成してください。

準備

1 機器を接続します。

- **Android*¹**: Android 機器を Bluetooth で接続します。(34 ページ)
- **iPod touch/iPhone**: iPod touch/iPhone をケーブル (57 ページ) や Bluetooth で接続します (34 ページ) *²。
- **<iPod 設定>** で、iPod touch/iPhone の適切な接続方法を選択してください。(25 ページ)

2 <App Setup> 画面で、使用する機器を選択します。(42 ページ)

3 ソースとして【Spotify】を選択します。ホーム画面上で：



Spotify が起動します。

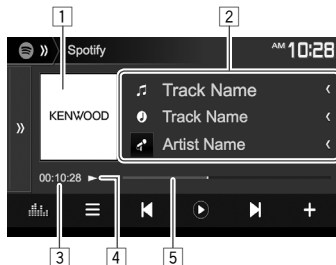
- 機器を選択する画面が表示されない場合は、使用する機器を選択してください。(42 ページ)

*¹ Android は DDX6170BT のみ使用できます。

*² Bluetooth 接続は DDX6170BT のみ使用できます。

再生の操作

□ ソースコントロール画面上的表示とボタン



再生情報

- 1 画像データ
- 2 トラック情報
 - 表示するテキストが多い場合は、【<】を押すとテキストがスクロールします。
- 3 再生時間
- 4 再生状態
- 5 プログレスバー

操作ボタン

- 【<】/【>】 ボタンを押すごとに、表示される情報が切り替わります。(♫ : アーティスト名 / ◎ : アルバムタイトル)

【>>】 非表示になっている操作ボタンを表示します。

- 非表示にするには【<<】を押します。

【≡】 <イコライザー> 画面を表示します。(43 ページ)

【☰】 Spotify のメニュー画面を表示します。(71 ページ)

【<】 【>】 トラックを選択します。

【▶】*¹ 再生を開始します。

【⏸】*¹ 再生を一時停止します。

【+】 現在再生しているトラック / アーティストを、<Your Music> に保存します。

【🔊】*² 現在のトラックの再生をやめて、次のトラックを再生します。

【👍】*² 現在のトラックをお気に入りの曲として登録します。

【🎲】 ランダム再生モードを有効または無効にします。

【🔄】 すべてのトラックをリピート再生する、またはリピート再生をキャンセルします。

【🔁】*³ 現在のトラックをリピート再生する、またはリピート再生をキャンセルします。

【(+)] ステーションを新規に作成します。(71 ページ)

【📱 / 📱】 <App Setup> 画面の機器を切り替えます。(42 ページ)

*¹ 再生中は、【⏸】が表示され、一時停止中は【▶】が表示されません。

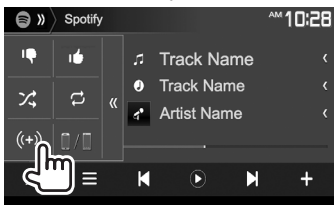
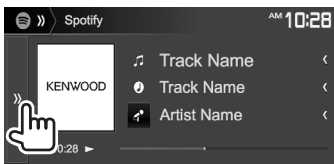
*² プレイリスト内のトラックにはできません。

*³ Premium 会員のみ利用できます。

Spotify

□ステーションを作成する (Start Radio)

1



- 2 検索ボックスにトラック名 / アーティスト名 / プレイリスト名を入力し、トラックを選択します。
作成したステーションは、選択したトラックで再生が始まります。

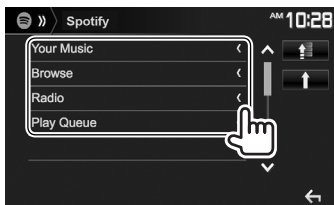
- サムアップ ([↑]) やサムダウン ([↓]) で、ステーションをカスタマイズできます。
 - プレイリスト内のトラックを再生しているときは、サムアップ / サムダウンは使用できません。

□トラックを選択する

- 1 Spotify メニュー画面を表示します。



- 2 リスト形式 (<Your Music>/<Browse>/<Radio>/<Play Queue>) を選び、項目を選びます。
- Spotify からの送信情報によって、表示されるリスト形式は異なります。



- [↑] を押すと最上位階層に戻ります。
- [↓] を押すと 1 つ上の階層に戻ります。

Spotify を使用するには

iPhone/iPod touch

- ご使用の iPhone/iPod touch に最新の Spotify をインストールします。(Apple iTunes の App Store で「Spotify」を検索して、最新のバージョンをインストールしてください。)
- iPod touch/iPhone を KCA-iP202、KCA-iP102 または KCA-iP103 (別売品) で本機に接続します。

- Bluetooth 内蔵かつ、以下のプロファイルに対応していることが必要になります。*
 - SPP (Serial Port Profile)
 - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

Android™*

- Google Play™にアクセスし、「Spotify」を検索してインストールしてください。
- Bluetooth 内蔵かつ、以下のプロファイルに対応していることが必要になります。
 - SPP (Serial Port Profile)
 - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

注意

- ご使用のスマートフォンにログインしていることを確認してください。Spotify のアカウントをお持ちでない場合は、スマートフォンまたは www.spotify.com から無料でアカウントを作成できます。
- Spotify は純正のサービスではないため、事前の告知をせずに仕様が変更になる場合があります。また、互換性に不備をきたす場合や、一部またはすべてのサービスが利用できなくなる場合もあります。
- Spotify の機能の中には、本機から操作できないものもあります。
- 操作などについては、www.spotify.com を参照してください。
- LTE、3G、EDGE または Wi-Fi を使用してインターネットに接続してください。

* DDX6170BT のみ



株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00

土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。